

表 3.2-54 特定建設作業騒音に係る基準

規制種別 地域の区分	基準値	作業時刻	1日当たりの 作業時間	作業期間	作業日
1号区域	85 デシベル	午後7時から午後7時の 時間内でないこと	10 時間を超え ないこと	連続 6 日 を超えないこと	日曜日そ の他の休 日でない こと
2号区域		午後10時から午後6時 の時間内でないこと	14 時間を超え ないこと		

注) 1号区域：第一種低層住居専用地域、第二種低層住居専用地域、第一種中高層住居専用地域、第二種中高層住居専用地域、田園住居地域、第一種住居地域、第二種住居地域、準住居地域、近隣商業地域、商業地域、準工業地域、用途地域として定められていない地域、工業地域のうち学校、病院等の周囲80m以内の地域

2号区域：工業地域のうち学校、病院等の周囲80m以外の地域

資料：「騒音・振動の指定地域・規制基準」（神奈川県HP、令和7年7月閲覧）

「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準を定める件に基づく静穏の保持を必要とする区域等として知事が指定する区域」（昭和49年5月10日 神奈川県告示第431号）

表 3.2-55 指定地域内における自動車騒音の要請限度

区域の区分		時間の区分	昼間 (6:00～22:00)	夜間 (22:00～6:00)
1	a 区域及び b 区域のうち1車線を有する道路に面する区域		65 デシベル	55 デシベル
2	a 区域のうち2車線以上の車線を有する道路に面する区域		70 デシベル	65 デシベル
3	b 区域のうち2車線以上の車線を有する道路に面する区域及び c 区域のうち車線を有する道路に面する区域		75 デシベル	70 デシベル

※上表に掲げる区域のうち幹線交通を担う道路に近接する区域（2車線以下の車線を有する道路の場合は道路の敷地の境界線から15m、2車線を超える車線を有する道路の場合は道路の敷地の境界線から20mまでの範囲をいう。）に係る限度は上表にかかわらず、昼間においては75デシベル、夜間においては70デシベルとする。

注) a 区域、b 区域、c 区域とは、それぞれ次の各号に掲げる区域として都道府県知事又は市長が定めた区域をいう。

1 a 区域：専ら住居の用に供される区域

2 b 区域：主として住居の用に供される区域

3 c 区域：相当数の住居と併せて商業、工業等の用に供される区域。

資料：「騒音・振動の指定地域・規制基準」（神奈川県HP、令和7年7月閲覧）

「騒音規制法第17条第1項の規定に基づく指定地域内における自動車騒音の限度を定める省令」（平成12年 総理府令第15号）

(5) 振動

振動の規制に関しては、「振動規制法」に基づき、特定工場振動に関する規制基準、特定建設作業に伴って発生する振動に関する規制基準及び道路交通振動の要請限度が定められている。それら規制基準及び要請限度は表 3.2-56～表 3.2-58 に示すとおりである。

表 3.2-56 特定工場等において発生する振動の規制に関する基準

	午前 8 時から午後 7 時まで	午後 7 時から翌日午前 8 時まで
第一種低層住居専用地域 第二種低層住居専用地域 第一種中高層住居専用地域 第二種中高層住居専用地域 田園住居地域	60 デシベル	55 デシベル
第一種住居地域 第二種住居地域 準住居地域	65 デシベル	55 デシベル
近隣商業地域 商業地域 準工業地域	65 デシベル	60 デシベル
工業地域	70 デシベル	60 デシベル
その他の地域	65 デシベル	55 デシベル

※ただし、学校・病院等特に静穏を必要とする施設の周囲 50m 以内では、表の値から 5 デシベル減じた値

資料：「騒音・振動の指定地域・規制基準（法律）」（神奈川県 HP、令和 7 年 7 月閲覧）

表 3.2-57 特定建設作業に伴って発生する振動の規制に関する基準

規制種別 地域の区分	基準値	作業時間	1 日当たりの 作業時間	作業日数	作業日
1 号区域	75 デシベル	午後 7 時から午後 7 時の 時間内でないこと	10 時間を超えないこと	連続 6 日 を超えないこと	日曜日そ 他の休 日でない こと
2 号区域		午後 10 時から午後 6 時の 時間内でないこと	14 時間を超えないこと		

注) 1 号区域：第一種低層住居専用地域、第二種低層住居専用地域、第一種中高層住居専用地域、第二種中高層住居専用地域、田園住居地域、第一種住居地域、第二種住居地域、準住居地域、近隣商業地域、商業地域、準工業地域、用途地域として定められていない地域、工業地域のうち学校、病院等の周囲 80m 以内の地域

2 号区域：工業地域のうち学校、病院等の周囲 80m 以外の地域

資料：「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」（昭和 43 年厚生省・建設省告示第 1 号）

「特定建設作業（法律）」（神奈川県 HP、令和 7 年 7 月閲覧）

表 3.2-58 道路交通振動の要請限度

時間の区分 区域の区分	昼間	夜間	備 考
第 1 種区域	65 デシベル	60 デシベル	昼間及び夜間とは、それぞれ以下の時間の範囲内において、都道府県知事又は市長が定めた時間をいう。 昼間：午前 5 時、6、7 時又は 8 時から 午後 7 時、8 時、9 時又は 10 時まで 夜間：午後 7 時、8 時、9 時又は 10 時から 翌日の午前 5 時、6 時、7 時又は 8 時まで
第 2 種区域	70 デシベル	65 デシベル	

注) 第 1 種区域及び第 2 種区域と、それぞれ次の各号に掲げる区域として都道府県知事が定めた区域をいう。

1. 第 1 種区域 良好な住居の環境を保全するため、特に静穏の保持を必要とする区域及び住民の用に供されているため、静穏の保持を必要とする区域
2. 第 2 種区域 住居の用に合わせて商業・工業等の用に供されている区域であって、その区域内の住民の生活環境を保全するため、振動の発生を防止する必要がある区域及び主として工業等の用に供されている区域であって、その区域内の住民の生活環境を悪化させないため、著しい振動の発生を防止する必要がある区域

資料：「道路交通振動測定マニュアル」（環境省、令和 4 年 6 月）

(6) 地盤沈下

横須賀市、逗子市及び葉山町は、「工業用水法」（昭和 31 年法律第 146 号）及び「神奈川県生活環境の保全等に関する条例」（平成 9 年 10 月 17 日条例第 35 号）による地下水の採取規制指定地域外となっている。

(7) 悪臭

横須賀市、逗子市及び葉山町における悪臭の規制基準は、「臭気指数」を採用しており、敷地境界線上における規制基準（1 号基準）、気体排出口の規制基準（2 号基準）、排水における規制基準（3 号基準）が定められている。

なお、本事業では、悪臭防止法及び神奈川県生活環境の保全等に関する条例の対象となる施設や作業はない。

(8) 廃棄物

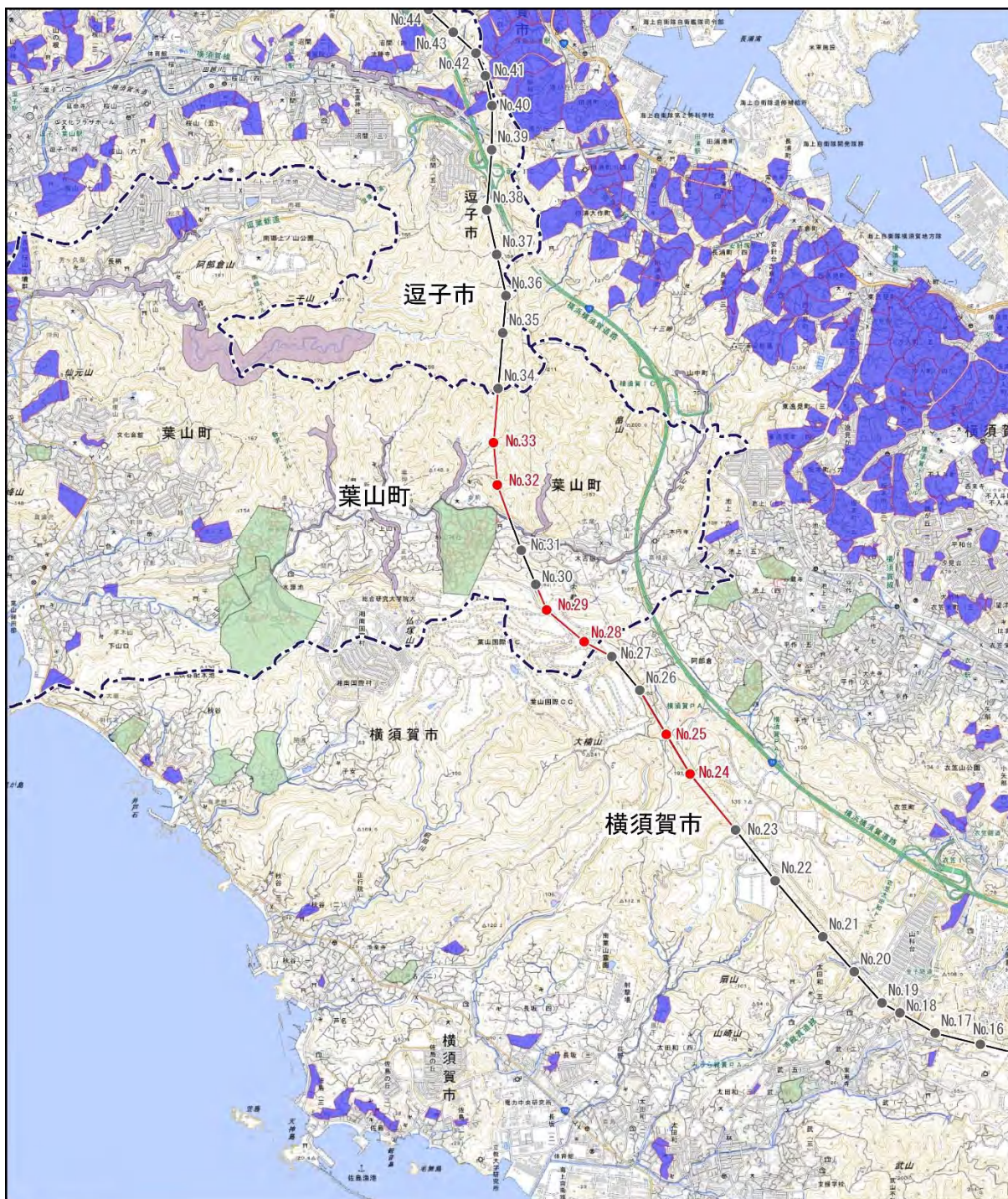
産業廃棄物については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」により、事業活動等に伴って発生した廃棄物は事業者自らの責任において適正に処理することが定められている。

3. 防災に係る関係法令の指定状況

砂防法による砂防指定地、地すべり防止法による地すべり防止区域、急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律による急傾斜地の崩壊危険区域の指定状況は、図 3.2-18(1)に示すとおりである。周辺地域には砂防指定地等が分布しているが、実施区域にこれらの区域は存在していない。

土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律による警戒区域及び特別警戒区域は、図 3.2-18(2)に示すとおりである。実施区域の一部に警戒区域及び特別警戒区域が存在している。

宅地造成及び特定盛土等規制法に基づく宅地造成等工事規制区域及び特定盛土等規制区域は、図 3.2-18(3)に示すとおりである。横須賀市、逗子市及び葉山町の全域が宅地造成等工事規制区域に指定されている。



凡 例

- 実施区域の送電線及び鉄塔
- 実施区域外の送電線及び鉄塔
- 市町村界
- 地すべり防止区域
- 砂防指定地
- 急傾斜地崩壊危険区域
- 〰 地すべりブロック

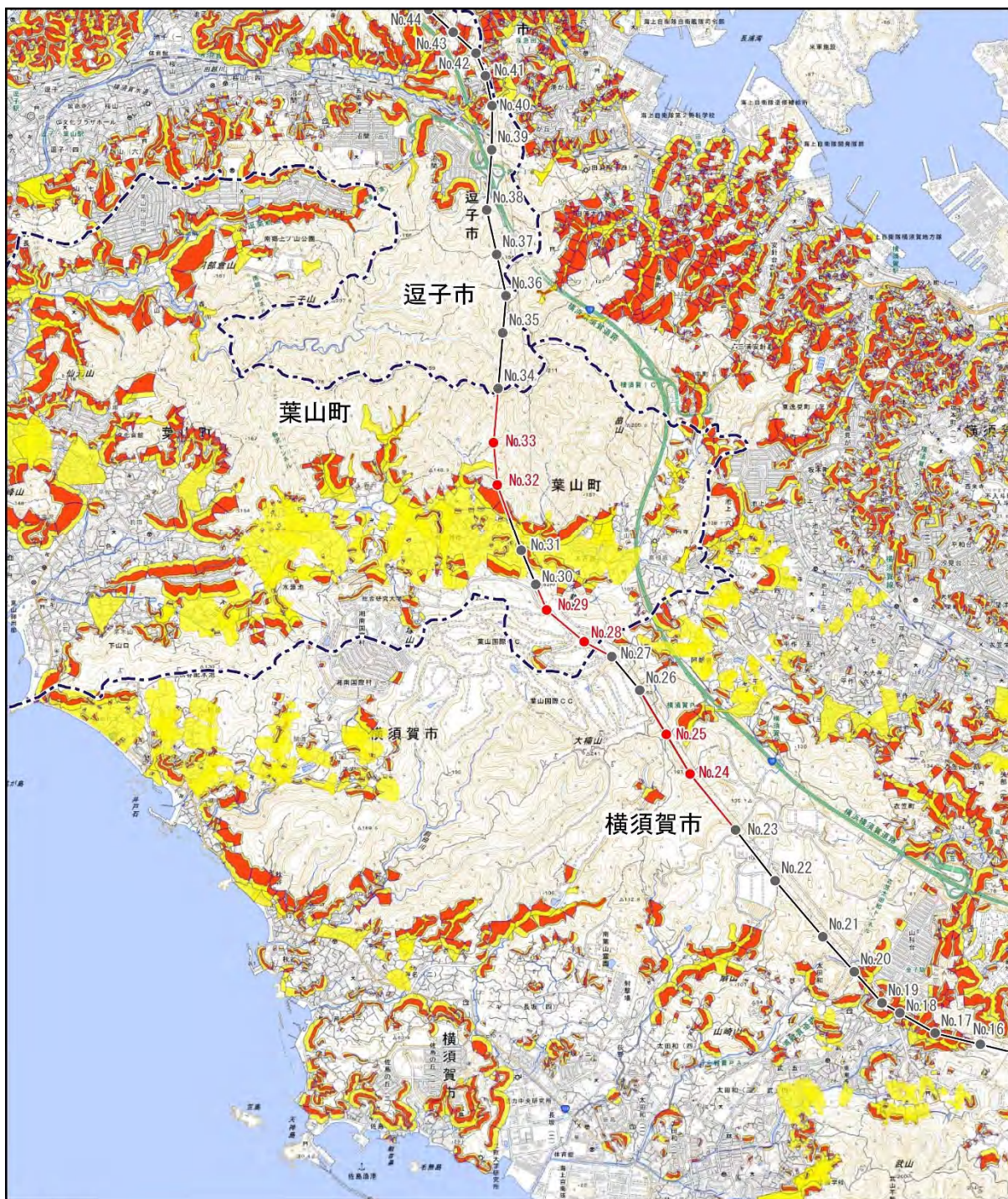


1:50,000

0 0.5 1 1.5 2 km

図 3.2-18(1)
防災に係る地域指定状況(1)

注) 資料調査結果の情報を優先するため、実施区域の工事用地は記載していない。
資料:「神奈川県土砂災害警戒情報システム」(神奈川県 HP、令和 7 年 7 月閲覧)



凡 例

- 実施区域の送電線及び鉄塔
- 実施区域外の送電線及び鉄塔
- 市町村界

- 警戒区域 急傾斜地
- 警戒区域 土石流
- 警戒区域 地すべり
- 特別警戒区域 急傾斜地
- 特別警戒区域 土石流
- 特別警戒区域 地すべり
- (指定予定) 警戒区域 急傾斜地
- (指定予定) 警戒区域 土石流
- (指定予定) 警戒区域 地すべり
- (指定予定) 特別警戒区域 急傾斜地
- (指定予定) 特別警戒区域 土石流
- (指定予定) 特別警戒区域 地すべり

注) 資料調査結果の情報を優先するため、実施区域の工事用地は記載していない。

資料: 「神奈川県土砂災害警戒情報システム」(神奈川県 HP、令和 7 年 7 月閲覧)

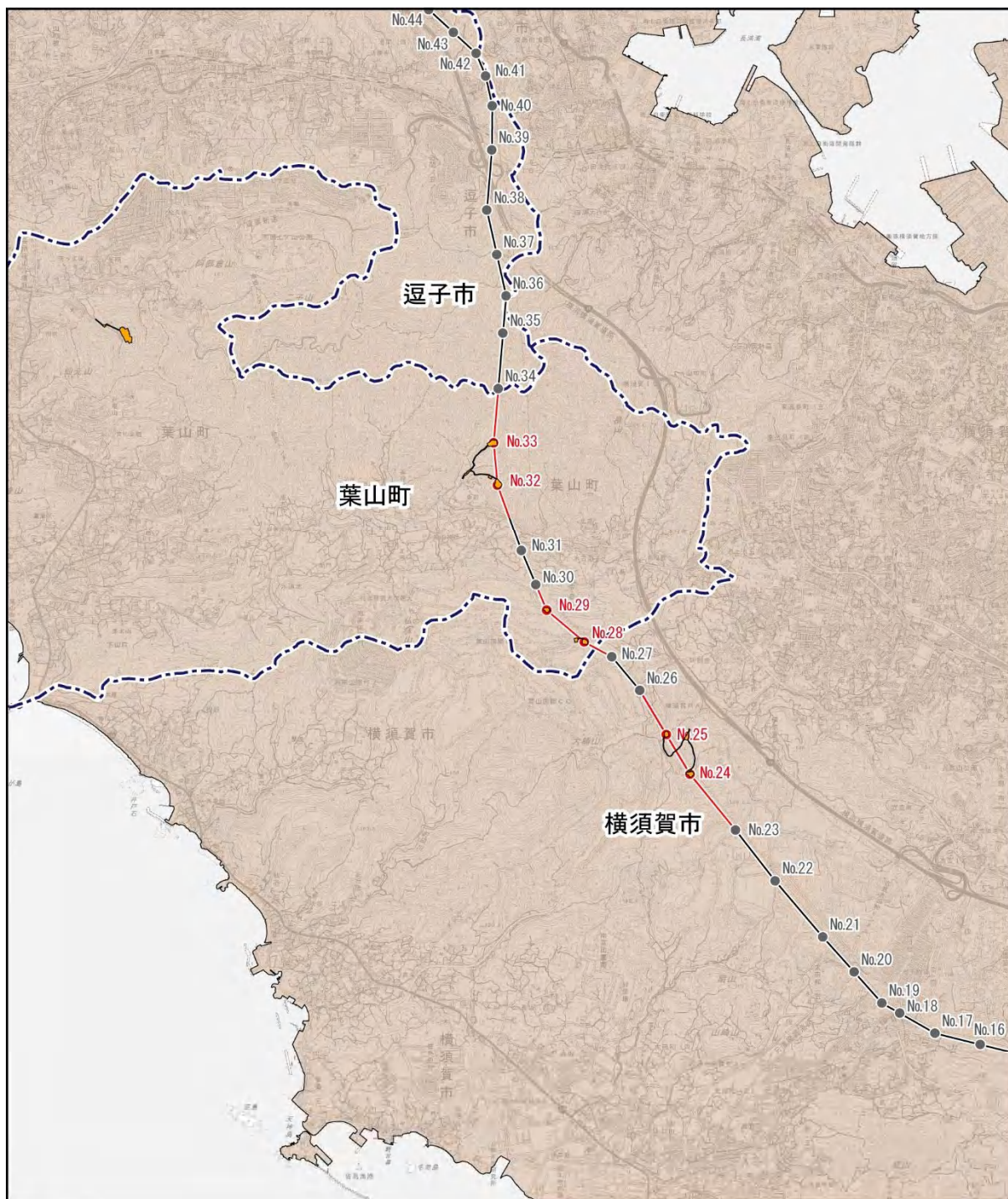


1:50,000

0 0.5 1 1.5 2 km

図 3.2-18 (2)

防災に係る地域指定状況 (2)



凡 例

- 実施区域の送電線及び鉄塔
- 実施区域外の送電線及び鉄塔
- - - 市町村界
- 実施区域の工事用地
- 宅地造成等工事規制区域



1:50,000

0 0.5 1 1.5 2 km

資料：「神奈川県の盛土規制法に基づく規制について」
 (神奈川県 HP、令和 7 年 9 月閲覧)
 「盛土規制法について」(横須賀市 HP、令和 7 年 9 月閲覧)

図 3.2-18(3)
 防災に係る地域指定状況(3)

第2章 自然的状況
第1節 気象

1. 気温、降水量

横須賀市における過去5年間の気象概況は、表3.2-59に示すとおりであり、平均気温は16.9～18.0℃、降水量は1,281.5～2,130.8mmとなっている。
また、逗子市の過去3年間の気象概況は、表3.2-60に示すとおりであり、平均気温は16.0～17.4℃、降水量は1,336.5～1,707.0mmとなっており、横須賀市よりもやや気温が低く、降水量も少なくなっている。

表 3.2-59 横須賀市の気象概況

Table with 11 columns: 年次別, 平均, 最高, 最低, 晴, 曇, 雨, 雪, 暴風, 降水量 (mm), 湿度 (%). Rows include years from 令和元年 (2019) to 令和5年 (2023).

注) 海上自衛隊横須賀地方総監部調べ
資料: 「令和6年度版横須賀市統計書」(横須賀市HP、令和7年7月閲覧)

表 3.2-60 逗子市の気象概況

Table with 10 columns: 年次別, 平均温度 (℃), 最高温度 (℃), 最低温度 (℃), 天候 (日) (晴, 雨, 曇, 雪, みぞれ), 降雨量 (mm), 平均湿度 (%). Rows include years 令和3年 (2021), 令和4年 (2022), and 令和5年 (2023).

注) 逗子市消防本部調べ
資料: 「令和5年度統計ずし」(逗子市HP、令和7年7月閲覧)

2. 風向・風速

横須賀市における風向風速の状況は、図3.2-19に示すとおりである。

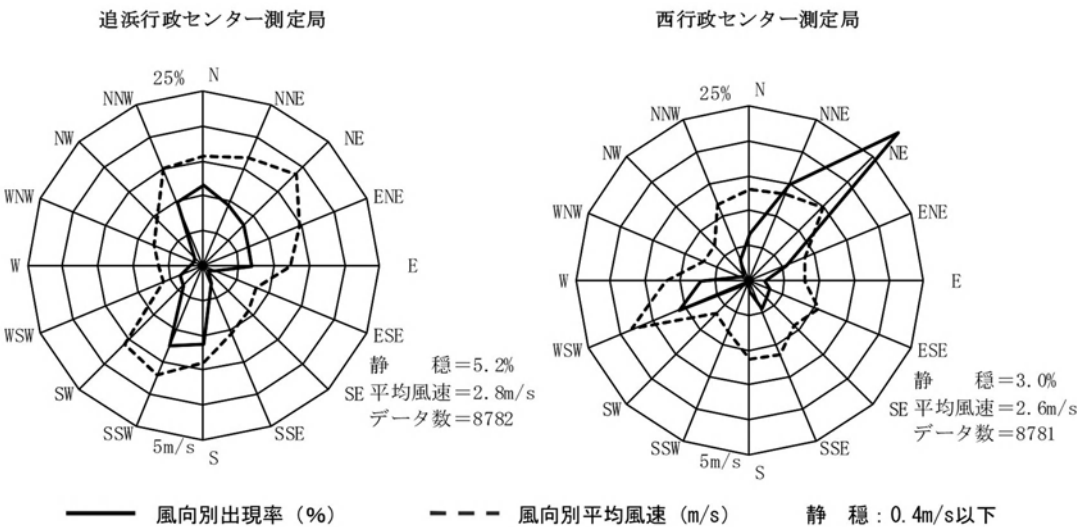


図 3.2-19 年間風配図(令和元年度)

資料: 「令和元年度環境基本計画年次報告書」(横須賀市HP、令和7年7月閲覧)

第2節 水象

1. 河川及び水路の分布状況

実施区域及び周辺地域の主要な河川の状況は、「第6節 水利用 2. 河川の利水状況」に示したとおりである(表 3.2-15 主な河川の状況、図 3.2-8 主な河川の状況 p.3-2-17～3-2-18 参照)。

2. 河川の流量

実施区域及び周辺地域の河川流量の状況は、表 3.2-61 に示すとおりである。

表 3.2-61 河川流量の状況(令和5年度)

河川名	地点名	流量(m ³ /s)			調査回数
		平均	最小	最大	
鷹取川	追浜橋	0.25	-0.66	1.53	24
平作川	夫婦橋	2.62	-8.46	11.23	24
松越川	竹川合流後	0.17	-0.43	0.83	24
下山川	下山橋	0.25	-0.37	1.44	24
森戸川	森戸橋	0.34	-0.09	1.32	24
田越川	渚橋	3.60	-5.18	11.36	24

資料：「令和5年度神奈川県公共用水域及び地下水の水質測定結果」(令和6年12月、神奈川県)

3. 地下水

実施区域及び周辺地域では、継続的な地下水位の観測は行われていない。

なお、実施区域の東約7kmに位置する走水水源地は、現在も水道水源として利用されており、1日約1,000m³の水量がある。

第3節 地象

1. 地形

実施区域及び周辺地域の地形分類図は、図 3. 2-20 に示すとおりである。
実施区域のほとんどは大起伏丘陵地または小起伏山地に位置している。

2. 地質

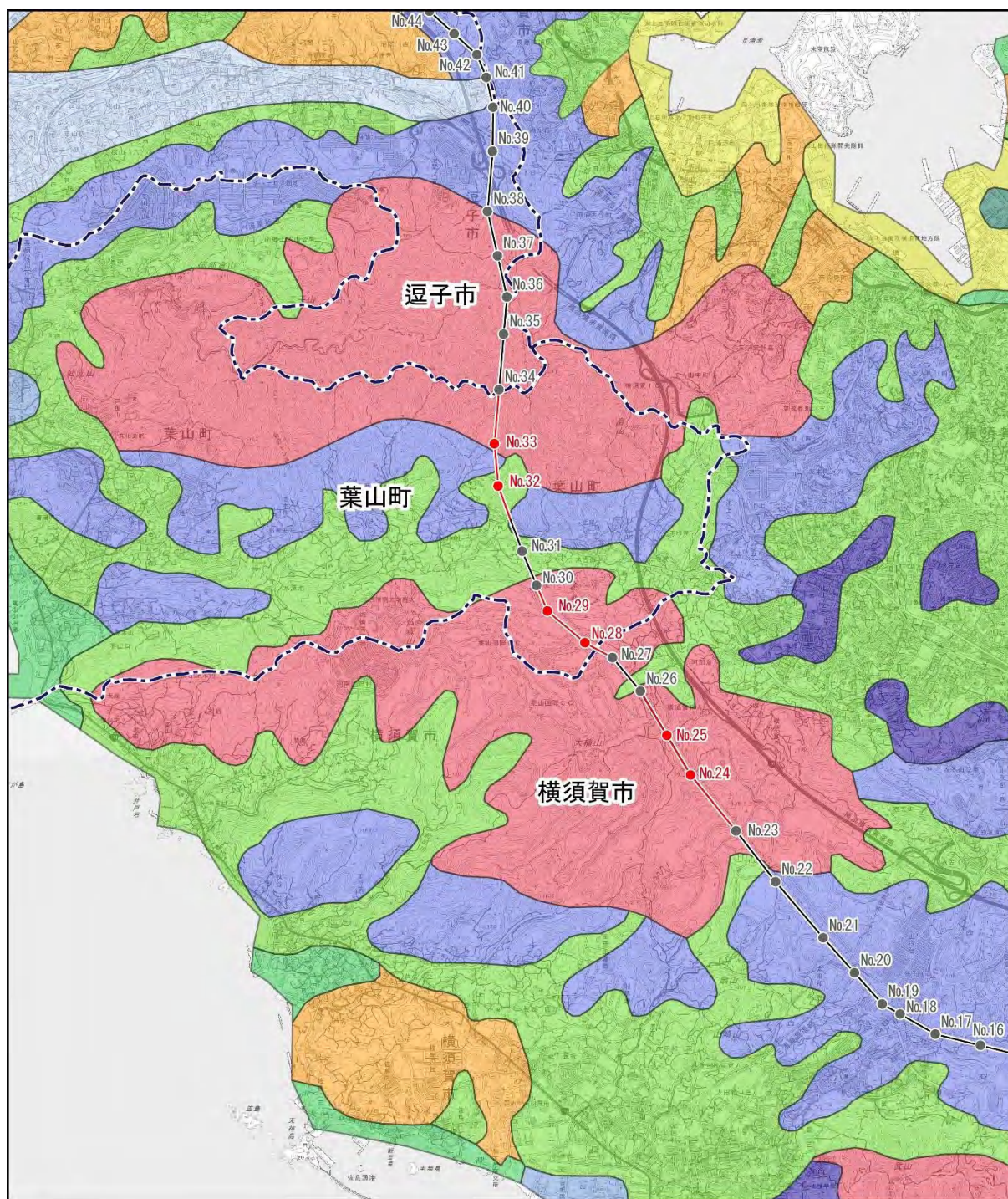
実施区域及び周辺地域の表層地質図は、図 3. 2-21 に示すとおりである。
実施区域の地質は、砂岩・泥岩・凝灰岩互層と砂岩・泥岩互層からなっており、一部に礫岩もみられる。

3. 重要な地形・地質

実施区域及び周辺地域には、重要な地形・地質として、森戸川上流の穿入蛇行が指定されている。穿入蛇行とは自由蛇行に対する言葉で、蛇行状に屈曲する谷の中を流れる河川を指す。隆起ないし侵食基準面の低下のため、曲流していた川が下方侵食を復活し、曲流を保ちながら河床を基盤岩中に深く掘り込んで生じる。

名称	地形項目	所在地
森戸川上流	穿入蛇行	逗子市、三浦郡葉山町

資料：「日本の典型地形について」（国土地理院 HP、令和 7 年 7 月閲覧）



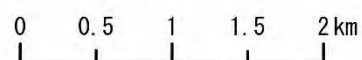
凡 例

- 実施区域の送電線及び鉄塔
- 実施区域外の送電線及び鉄塔
- 市町村界

- ローム台地（上位）
- ローム台地（中位）
- 三角州性低地
- 自然堤防・砂州・砂丘
- 大起伏丘陵地
- 小起伏丘陵地
- 小起伏山地
- 扇状地性低地
- 埋立地

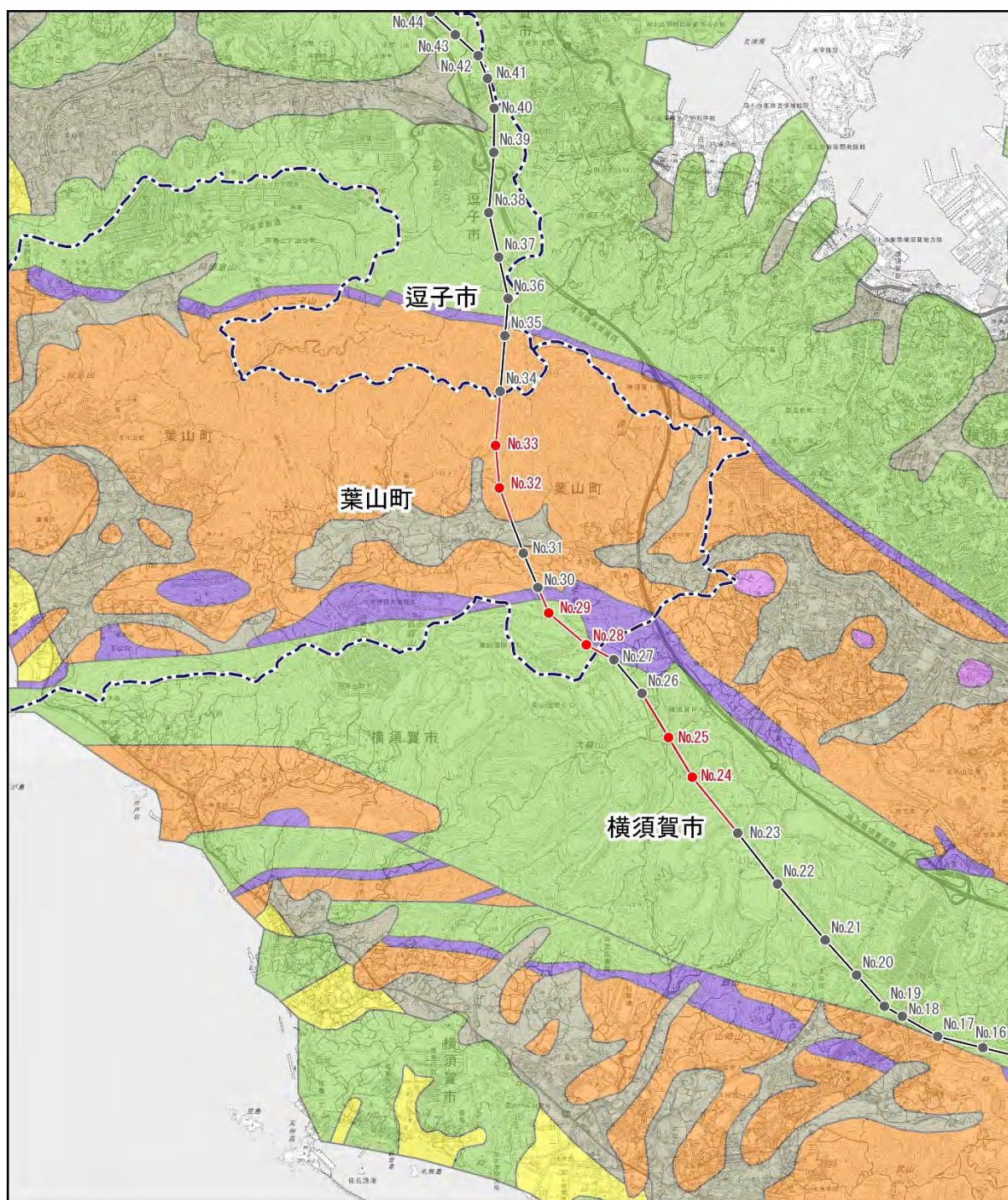


1:50,000



注）資料調査結果の情報を優先するため、実施区域の工事用地は記載していない。
 資料：「国土数値情報ダウンロードサービス(国土調査(土地分類調査))」
 (国道交通省 HP、令和7年7月閲覧)

図 3.2-20 地形分類図



凡 例

- | | |
|-------------------|-------------|
| —●— 実施区域の送電線及び鉄塔 | 砂 |
| —●— 実施区域外の送電線及び鉄塔 | 砂岩・泥岩・凝灰岩互層 |
| --- 市町村界 | 砂岩・泥岩互層 |
| | 蛇紋岩質岩石 |
| | 泥 |
| | 礫岩 |



1:50,000

0 0.5 1 1.5 2 km

注) 資料調査結果の情報を優先するため、実施区域の工事用地は記載していない。
資料: 「国土数値情報ダウンロードサービス(国土調査(土地分類調査))」
(国土交通省 HP、令和 7 年 7 月閲覧)

図 3.2-21 表層地質図

第4節 生物

1. 植物

実施区域及び周辺地域の植物相、植生等の状況把握に用いた既存資料は、表 3.2-62 に示すとおりである。また、重要種の選定は、表 3.2-63 に示す基準により行った。

表 3.2-62 既存資料一覧（植物）

No.	資料名	抽出範囲
①	「自然環境保全基礎調査 植生調査（第6回～第7回）」 （生物多様性センター 自然環境調査 Web-GIS、令和6年11月閲覧）	実施区域及び 周辺地域
②	「自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査（第2,3,5回）」 （生物多様性センター 自然環境調査 Web-GIS、令和6年11月閲覧）	実施区域及び 周辺地域
③	「自然環境保全基礎調査 巨樹・巨木調査（第4,6回）」 （生物多様性センター 自然環境調査 Web-GIS、令和6年11月閲覧）	実施区域及び 周辺地域
④	「神奈川県レッドデータブック 2022 植物編」 （神奈川県立生命の星・地球博物館、令和4年）	該当市町村
⑤	「神奈川県史 各論編 4（自然）」 （神奈川県民部県史編集室、昭和53年）	該当市町村
⑥	「郷土誌葉山 第15号 葉山町の歴史とくらし」 （葉山町、令和3年）	掲載種全て
⑦	「逗子市史 別編1（民俗編・自然編）」 （逗子市、昭和62年）	掲載種全て
⑧	「新横須賀市史 通史編◇自然・原始・古代・中世」 （横須賀市、平成24年）	掲載種全て
⑨	「地域環境評価書（資料編）-三浦半島北部地域-、-高座丘陵地域-」 （神奈川県環境部、平成2年）	該当市町村
⑩	「地域環境評価書（資料編）-三浦半島南部地域-」 （神奈川県環境部、平成2年）	該当市町村
⑪	「神奈川県植物誌 2018」 （神奈川県植物誌調査会、令和元年）	該当市町村
⑫	「逗子の自然（改訂6版）」 （逗子市教育委員会 教育研究所、平成29年）	掲載種全て
⑬	「三浦半島の水辺-身近な生物と私たちの暮らし-」 （横須賀市自然博物館、平成8年）	掲載種全て
⑭	「三浦半島の自然環境 -5万分の1自然環境図説明書-」 （横須賀市自然博物館、平成3年）	掲載種全て
⑮	「三浦半島の野生植物」 （横須賀市自然博物館、平成16年）	掲載種全て
⑯	「神奈川自然誌資料 第1号～第45号」 （神奈川県立生命の星・地球博物館、令和6年11月閲覧）	該当市町村
⑰	「逗子市文化財調査報告書 第十一集 植物」 （逗子市教育委員会、昭和57年）	掲載種全て

表 3.2-63 重要種の選定基準（植物）

	法令・文献・資料名	区 分
①	「文化財保護法」（昭和 25 年法律第 214 号）、「神奈川県文化財保護条例」（昭和 30 年条例第 13 号）、「横須賀市文化財保護条例」（昭和 39 年条例第 41 号）、「葉山町文化財保護条例」（昭和 42 年条例第 7 号）、「逗子市文化財保護条例」（昭和 43 年条例第 11 号）	特天：国指定特別天然記念物 国天：国指定天然記念物 県天：神奈川県指定天然記念物 横天：横須賀市指定天然記念物 葉天：葉山町指定天然記念物 逗天：逗子市指定天然記念物
②	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成 4 年法律第 75 号）	国内：国内希少野生動植物種 特二：特定第二種国内希少野生動植物種
③	「環境省第 5 次レッドリスト（維管束植物）」（環境省、令和 7 年 3 月）	EX：絶滅。我が国ではすでに絶滅したと考えられる種。 CR：絶滅危惧 IA 類。ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの。 EN：絶滅危惧 IB 類。IA 類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの。 VU：絶滅危惧 II 類。絶滅の危険が増大している種。 NT：準絶滅危惧。現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種。 DD：情報不足。評価するだけの情報が不足している種。 LP：地域個体群。地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの。
④	「神奈川県レッドデータブック 2022〔植物編〕」（神奈川県、令和 4 年）	EX：県内では、すでに絶滅したと考えられる種。 EW：県内において、過去に生息したことが確認されており、飼育・栽培下、あるいは自然分布の明らかに外側で野生化した状態では存続しているが、本来の自然の生息地ではすでに絶滅したと考えられる種 CR：絶滅危惧 IA 類。県内において、ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの。 EN：絶滅危惧 IB 類。県内において、IA 類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの。 VU：絶滅危惧 II 類。県内において、絶滅の危険が増大している種。 NT：準絶滅危惧。県内において、存続基盤が脆弱な種。 DD：情報不足。県内において、評価するだけの情報が不足している種。

(1) 植物相

実施区域及び周辺地域の植物種は表 3.2-64 に、重要種は表 3.2-65(1)～(6)に示すとおりである。178 科 2,016 種の植物種が確認されており、このうち重要種に該当する種は 265 種である。なお、既存資料により確認された植物種（全種）は、資料編に示した。

表 3.2-64 既存資料により確認された植物種

分類		科数	種数
シダ植物		25 科	205 種
裸子植物		5 科	20 種
被子植物	基部被子植物	2 科	6 種
	—	1 科	4 種
	モクレン類	6 科	22 種
	単子葉類	27 科	510 種
	真正双子葉類	112 科	1,249 種
合計		178 科	2,016 種

注 1) 植物の分類体系は、国際基準の分類体系 APGⅢに準拠した。

注 2) 表中の「—」は、被子植物の分類の中で他の分類に属さないもの（センリョウ目）を示す。

表 3.2-65(1) 既存資料により確認された重要種（植物）

分類	科名	種名	選定基準			
			①	②	③	④
シダ植物	ハナヤスリ	シチトウハナワラビ				NT
		コヒロハハナヤスリ				NT
	マツバラン	マツバラン			NT	NT
	コケシノブ	コケシノブ				VU
		ホクリクハイホラゴケ				CR
		ミウラハイホラゴケ			EN	EN
		イズハイホラゴケ				CR
	デンジソウ	デンジソウ			VU	VU
	サンショウモ	オオアカウキクサ			EN	VU
		サンショウモ			VU	CR
	キジノオシダ	オオキジノオ				NT
		キジノオシダ				NT
	ホングウシダ	ハマホラシノブ				EN
	コバノイシカグマ	イシカグマ				VU
		ウスバイシカグマ			NT	CR
	イノモトソウ	タキミシダ			EN	EN
		ヒメミズワラビ				NT
		ハチジョウシダ				EN
		ハチジョウシダモドキ				VU
	チャセンシダ	ヌリトラノオ				CR
		コタニワタリ				NT
		チャセンシダ				VU
		ハウビンダ				VU
	ヒメシダ	イワハリガネワラビ				EN
		ケホシダ				EN
	シシガシラ	オサシダ				NT
		ハチジョウカグマ				CR
	メシダ	タニイヌワラビ				NT
		ムクゲシケンシダ				VU
		オニヒカゲワラビ				VU

表 3.2-65(2) 既存資料により確認された重要種（植物）

分類	科名	種名	選定基準			
			①	②	③	④
シダ植物	メシダ	コクモウクジャク				VU
	オシダ	ミドリカナワラビ				VU
		ヒロハヤブソテツ				VU
		ハチジョウベニシダ				VU
		ミヤマベニシダ				CR
		タニヘゴ				EN
裸子植物	ヒノキ	イブキ				EN
		ハイネズ				CR
		ネズミサシ				NT
		オキナワハイネズ				CR
基部被子植物	スイレン	コウホネ				CR
		ヒツジグサ				EX
単子葉類	オモダカ	アギナシ			NT	CR
	トチカガミ	ヤナギスブタ				CR
		ヤマトウミヒルモ				CR
		ウミヒルモ			NT	
		トチカガミ			NT	EX
		ヒロハトリゲモ			VU	NT
		イトトリゲモ			NT	NT
		トリゲモ			VU	CR
		ミズオオバコ			VU	VU
	アマモ	エビアマモ			NT	VU
		オオアマモ			VU	
		タチアマモ			VU	VU
		コアマモ				VU
	ヒルムシロ	リュウノヒゲモ			NT	VU
		イトクズモ			VU	EX
	キンコウカ	ソクシンラン				CR
	ホンゴウソウ	ホンゴウソウ			VU	EX
	ユリ	キバナノアマナ				EX
		ヤマジノホトトギス				EN
		アマナ				NT
	ラン	ムギラン			NT	EN
		エビネ			NT	NT
		キンセイラン			VU	CR
		キンラン			VU	NT
		クゲヌマラン			VU	
		ユウシュンラン			VU	EN
		ヒメノヤガラ			VU	VU
		マヤラン			VU	
		ナギラン			VU	VU
		クマガイソウ			VU	VU
		ハマカキラン			VU	
		カキラン				VU
		タシロラン			NT	
		ベニシュスラン				NT
		アケボノシュスラン				VU
		ハチジョウシュスラン				EN
		シュスラン				VU
		オオハクウンラン			VU	CR

表 3. 2-65 (3) 既存資料により確認された重要種 (植物)

分類	科名	種名	選定基準			
			①	②	③	④
単子葉類	ラン	ムヨウラン				VU
		トサノクロムヨウラン				NT
		ジガバチソウ				CR
		フウラン			VU	EN
		ムカゴサイシン			EN	EN
		ヨウラクラン				VU
		コケイラン				CR
		サギソウ			NT	
		コバノトンボソウ				EX
		クモラン				CR
		カヤラン				NT
		カゲロウラン			NT	VU
	アヤメ	ヒオウギ				VU
		アヤメ				EX
	ヒガンバナ	タマムラサキ				EN
		イズアサツキ			EN	CR
		ハマオモト				EN
	クサスギカズラ	キジカクシ				VU
		キヨスミギボウシ				CR
		ヤマアマドコロ				NT
	ガマ	ミクリ			NT	NT
		ヒメミクリ			VU	CR
	ホシクサ	ヒロハノイヌノヒゲ				NT
	イグサ	ヒメコウガイゼキショウ				VU
	カヤツリグサ	イセウキヤガラ				EN
		トダスゲ			CR	
		クロカワズスゲ				NT
		ハリガネスゲ				VU
		アワボスゲ				EN
		アイノコシラスゲ				CR
		シオクグ				NT
		センダイスゲ				VU
		ヒトモトススキ				VU
		ヒメアオガヤツリ				CR
		ツルナシコアゼガヤツリ				VU
		シロガヤツリ				VU
		オニガヤツリ				EX
		セイタカハライ				VU
		ハライ				VU
		イヌクログワイ				EX
		ヒメハライ				EX
		シカクイ				NT
		クグテンツキ				EN
		アオテンツキ				CR
		ナガボテンツキ				EN
		ヤリテンツキ			NT	CR
		ビロードテンツキ				EN
		アゼテンツキ				VU
		メアゼテンツキ				VU
		ヒメホタルイ				EN

表 3. 2-65 (4) 既存資料により確認された重要種 (植物)

分類	科名	種名	選定基準			
			①	②	③	④
単子葉類	イネ	スズメガヤ				VU
		ウシノケグサ				VU
		ハイチゴザサ				NT
		ケカモノハシ				VU
		カモノハシ				EN
		キダチノネズミガヤ				VU
		アイアシ				VU
		アワガエリ				EX
		セイタカヨシ				NT
		ヨコハマダケ				EN
		ハマヒエガエリ				VU
		ワセオバナ				VU
		ケスズ				CR
		オニシバ				VU
		ナガミノオニシバ				EN
真正双子葉類	キンポウゲ	オオバショウマ				VU
		スハマソウ			NT	EN
		ヒキノカサ			VU	CR
	ユズリハ	スルガヒメユズリハ				DD
	ユキノシタ	ムカゴネコノメソウ			NT	
		イズノシマダイモンジソウ				EX
	ベンケイソウ	ミツバベンケイソウ				EN
		メノマンネングサ				EN
	タコノアシ	タコノアシ			NT	
	ハマビシ	ハマビシ			EN	EX
	マメ	ハマナタマメ				CR
		ノアズキ				VU
		イタチササゲ				EN
		レンリソウ				EN
		サガミメドハギ			EX	EX
		イヌハギ			VU	VU
	イラクサ	トキホコリ			VU	VU
	バラ	エドヒガン				NT
		オオダイコンソウ				VU
		リンボク				CR
		ヒロハノカワラサイコ			VU	VU
	ブナ	ツブラジイ				DD
		ウバメガシ				CR
	ニシキギ	ウメバチソウ				EN
	トウダイグサ	イワタイゲキ				CR
	スミレ	ヒカゲスミレ				NT
	オトギリソウ	ハマオトギリ				EN
	ミソハギ	ミズキカシグサ			VU	EX
		ヒメビシ			VU	
		ヒシ				VU
	アカバナ	ウスゲチヨウジタデ			NT	
		ミズユキノシタ				CR
		ミズキンバイ			VU	VU
	アオイ	ハマボウ				EN
	ジンチョウゲ	コガンピ				VU

表 3. 2-65 (5) 既存資料により確認された重要種 (植物)

分類	科名	種名	選定基準			
			①	②	③	④
真正双子葉類	アブラナ	ハクサンハタザオ				EX
		ハマハタザオ				EX
		コンロンソウ				VU
	タデ	ヌカボタデ			VU	EX
		アキノミチヤナギ				VU
	ナデシコ	フシグロセンノウ				VU
	ヒユ	ホソバハマアカザ				VU
		ハマアカザ				EX
		カワラアカザ				CR
		ハママツナ				EN
	サクラソウ	ヌマトラノオ				VU
		タイミンタチバナ				EX
	ツツジ	シャクジョウソウ				NT
		ヒカゲツツジ				EN
		レンゲツツジ				EX
		ハコネコメツツジ			VU	VU
		シャシャンボ				CR
	アカネ	ヤブムグラ			VU	VU
		ホソバノヨツバムグラ				VU
	リンドウ	コケリンドウ				VU
		ムラサキセンブリ			NT	EN
	マチン	アイナエ				VU
	キョウチクトウ	サカキカズラ				CR
		コイケマ				VU
		シタキソウ				EN
		コカモメヅル				EN
		スズサイコ			NT	VU
	ナス	ヤマホオズキ			EN	NT
	ムラサキ	スナビキソウ				CR
	モクセイ	ミウライボタ				NT
	オオバコ	シソクサ				VU
		キクモ				NT
		ウンラン				EN
		トウオオバコ				VU
		イヌノフグリ			VU	VU
		カワヂシャ			NT	
	シソ	ケブカツルカコソウ			VU	
		タニジャコウソウ			NT	
		シマクサギ				EN
		キセワタ			VU	CR
		マネキグサ			NT	EN
		シロネ				EX
		ミゾコウジュ			NT	
		ヒメナミキ				VU
		カリガネソウ				VU
	ハマウツボ	ハマウツボ			VU	EX
		ヒキヨモギ				VU
	キキョウ	ハマシャジン				VU
		ツルギキョウ			VU	VU
		バアソブ			VU	VU

表 3. 2-65 (6) 既存資料により確認された重要種 (植物)

分類	科名	種名	選定基準			
			①	②	③	④
真正双子葉類	キキョウ	キキョウ			VU	EN
		ヒナギキョウ				VU
	ミツガシワ	ガガブタ			NT	EX
		アサザ			NT	EX
	キク	ノコギリソウ				EN
		ヌマダイコン				VU
		ヤマハハコ				VU
		カワラハハコ				VU
		ユキヨモギ			EN	EN
		タテヤマギク			NT	
		ヒメシオン				EN
		カワラノギク			VU	EN
		アキハギク				VU
		ヨメナ				VU
		ホソバガクビソウ				VU
		ハマアザミ				CR
		タカアザミ				EN
		ワダン				VU
		フジバカマ			NT	EX
		サワヒヨドリ				EN
		ハマサワヒヨドリ			VU	CR
		オグルマ				NT
		カセンソウ				VU
		ハマニガナ				VU
		ヤマタバコ			CR	CR
		キクアザミ				EN
		ハマアキノキリンソウ				EN
		ハチジョウナ				VU
		ウラギク			NT	EN
		オナモミ			VU	EN
	セリ	ミシマサイコ			VU	CR
		ホタルサイコ				CR
		イブキボウフウ				EN
	スイカズラ	マツムシソウ				EN
		ソナレマツムシソウ			VU	
合計	71 科	265 種	0 種	0 種	84 種	247 種

注) 重要種の選定基準は、表 3. 2-63 を参照。

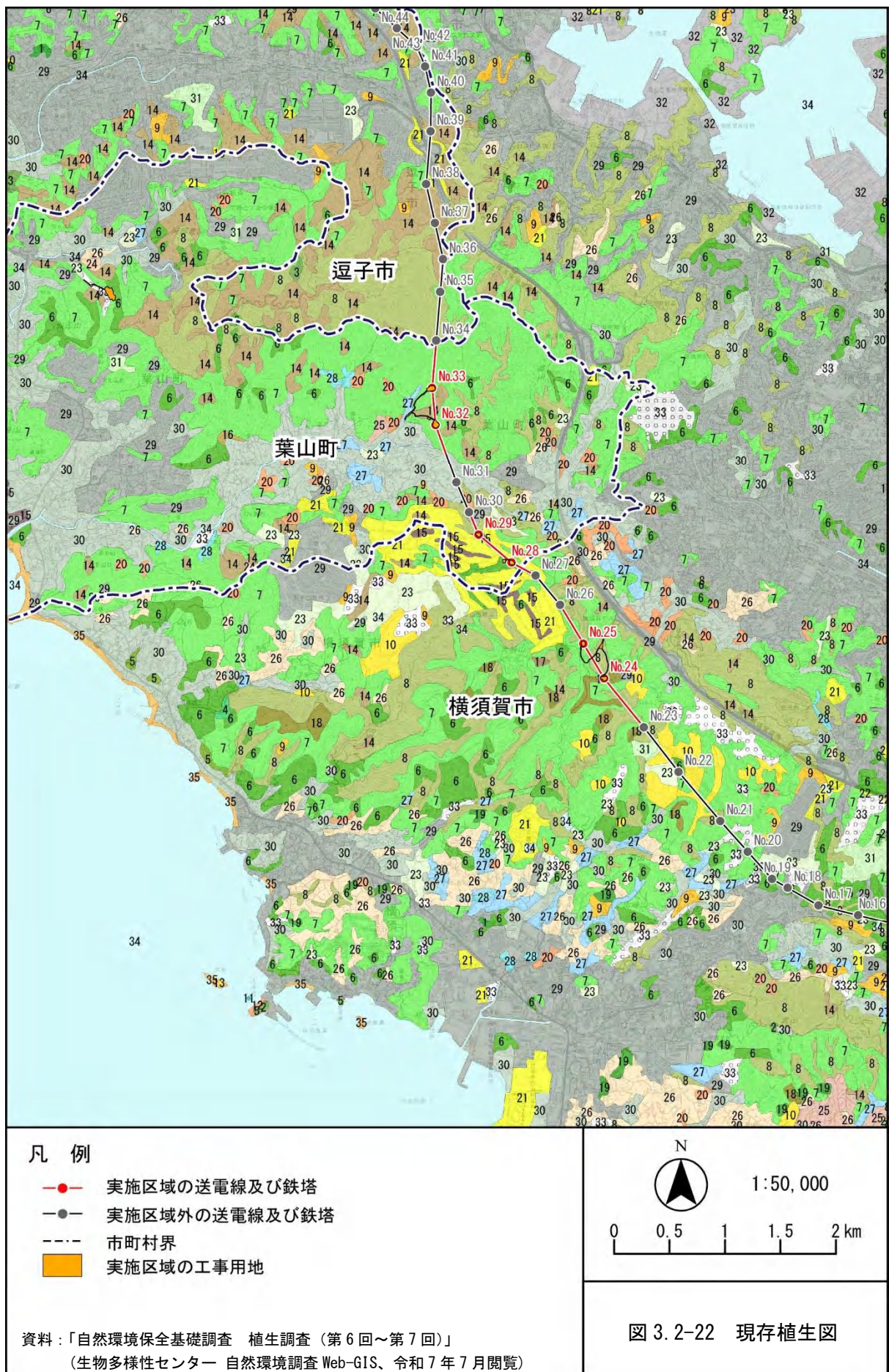
(2) 植生

実施区域及び周辺地域の植生は、表 3.2-66 及び図 3.2-22 に示すとおりであり、シイ・カシ二次林、オニシバリーコナラ群集、アカメガシワーカラスザンショウ群落等により構成されている。

表 3.2-66 現存植生図の凡例

植生区分	図中色	統一凡例 No.	群落名
ヤブツバキクラス域自然植生	1	271201	ヤブコウジースダジイ群集
	2	271600	タブノキ群落
	3	271601	イノデータブノキ群集
	4	300100	ケヤキ群落 (VI)
	5	340101	マサキートベラ群集
ヤブツバキクラス域代償植生	6	400100	シイ・カシ二次林
	7	410103	オニシバリーコナラ群集
	8	410700	アカメガシワーカラスザンショウ群落
	9	440000	低木樹林
	10	450100	ススキ群団 (VII)
河辺・湿原・沼沢地・砂丘植生	11	480400	アマモクラス
	12	490000	砂丘植生
	13	500302	イソギクハチジョウススキ群集
植林地・耕作地植生	14	540100	スギ・ヒノキ・サワラ植林
	15	540300	クロマツ植林
	16	540900	外国産樹種植林
	17	541000	その他植林
	18	541205	オオシマザクラ植林
	19	541304	マテバシイ植林
	20	550000	竹林
	21	560100	ゴルフ場・芝地
	22	560200	牧草地
	23	570100	路傍・空地雑草群落
	24	570101	放棄畑雑草群落
	25	570200	果樹園
	26	570300	畑雑草群落
	27	570400	水田雑草群落
	28	570500	放棄水田雑草群落
市街地等	29	580100	市街地
	30	580101	緑の多い住宅地
	31	580200	残存・植栽樹群をもった公園、墓地等
	32	580300	工場地帯
	33	580400	造成地
	34	580600	開放水域
	35	580700	自然裸地

資料：「自然環境保全基礎調査 植生調査（第6回～第7回）」（生物多様性センター 自然環境調査 Web-GIS）



(3) 植生自然度

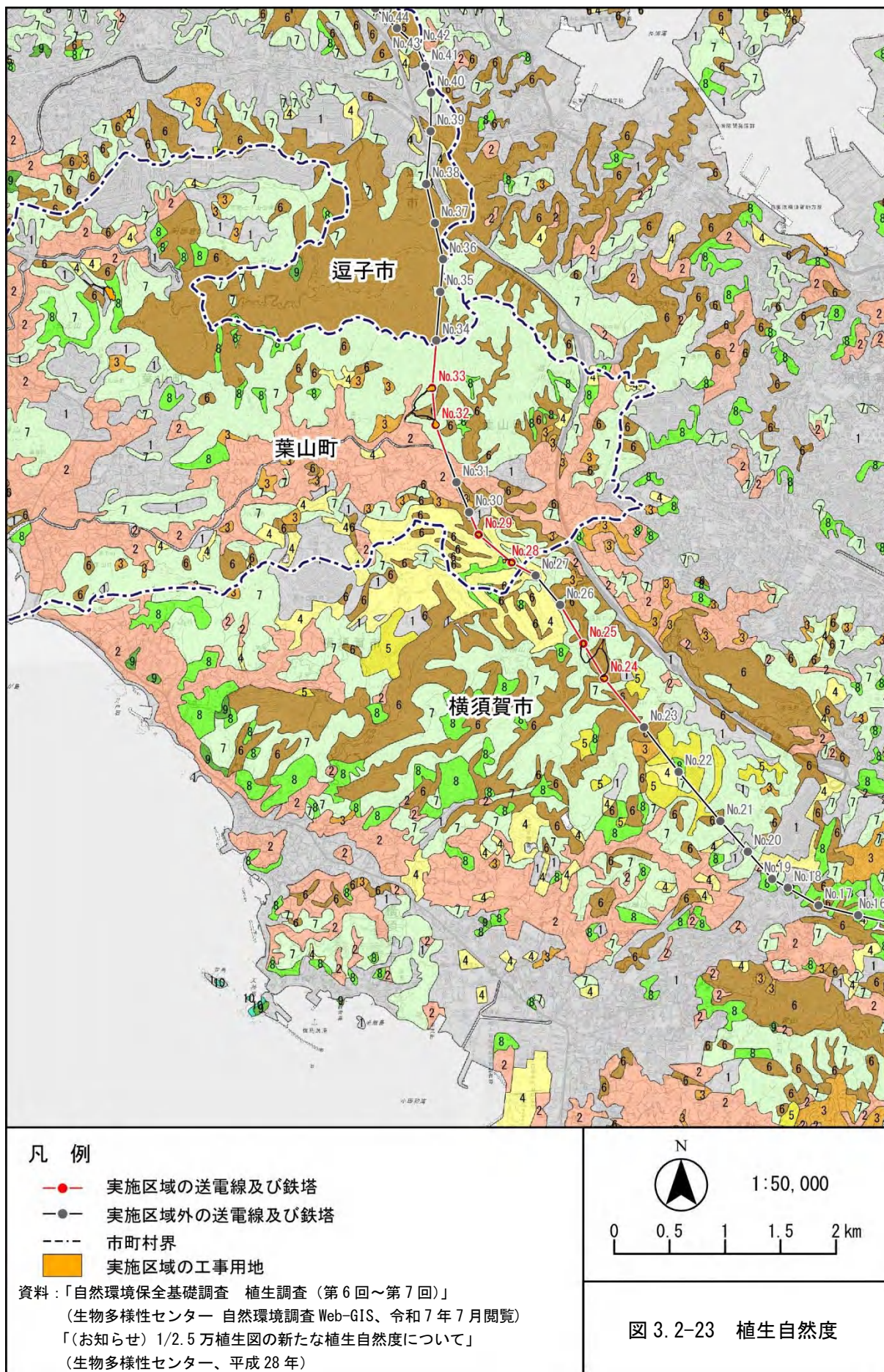
実施区域及び周辺地域の植生自然度は、表 3.2-67 及び図 3.2-23 に示すとおりであり、主に自然度 7 の二次林、自然度 6 の植林地、自然度 2 の外来種草原農耕地（水田・畑）により構成されている。

表 3.2-67 植生自然度の凡例

図中色 植生自然度	区分内容	該当する植生
10	自然草原	アマモクラス、砂丘植生、イソギクハチジョウススキ群集
9	自然林	ヤブコウジースダジイ群集、タブノキ群落、イノデータブノキ群集、ケヤキ群落（VI）、マサキートベラ群集
8	二次林(自然林に近いもの)	シイ・カシ二次林
7	二次林	オニシバリーコナラ群集
6	植林地	アカメガシワーカラスザンショウ群落、低木群落、スギ・ヒノキ・サワラ植林、クロマツ植林、オオシマザクラ植林、マテバシイ植林、その他植林
5	二次草原(背の高い草原)	ススキ群団(VII)
4	二次草原(背の低い草原)	ゴルフ場・芝地、路傍・空地雑草群落、放棄畑雑草群落、放棄水田雑草群落
3	外来種植林農耕地(樹園地)	外国産樹種植林、竹林、果樹園、残存植栽樹群をもった公園、墓地等
2	外来種草原農耕地(水田・畑)	牧草地、畑雑草群落、水田雑草群落、緑の多い住宅地
1	市街地等	市街地、造成地、工場地帯、自然裸地

注) 植生区分で開放水域に該当する箇所は除く。

資料：「(お知らせ) 1/2.5 万植生図の新たな植生自然度について」(生物多様性センター、平成 28 年)



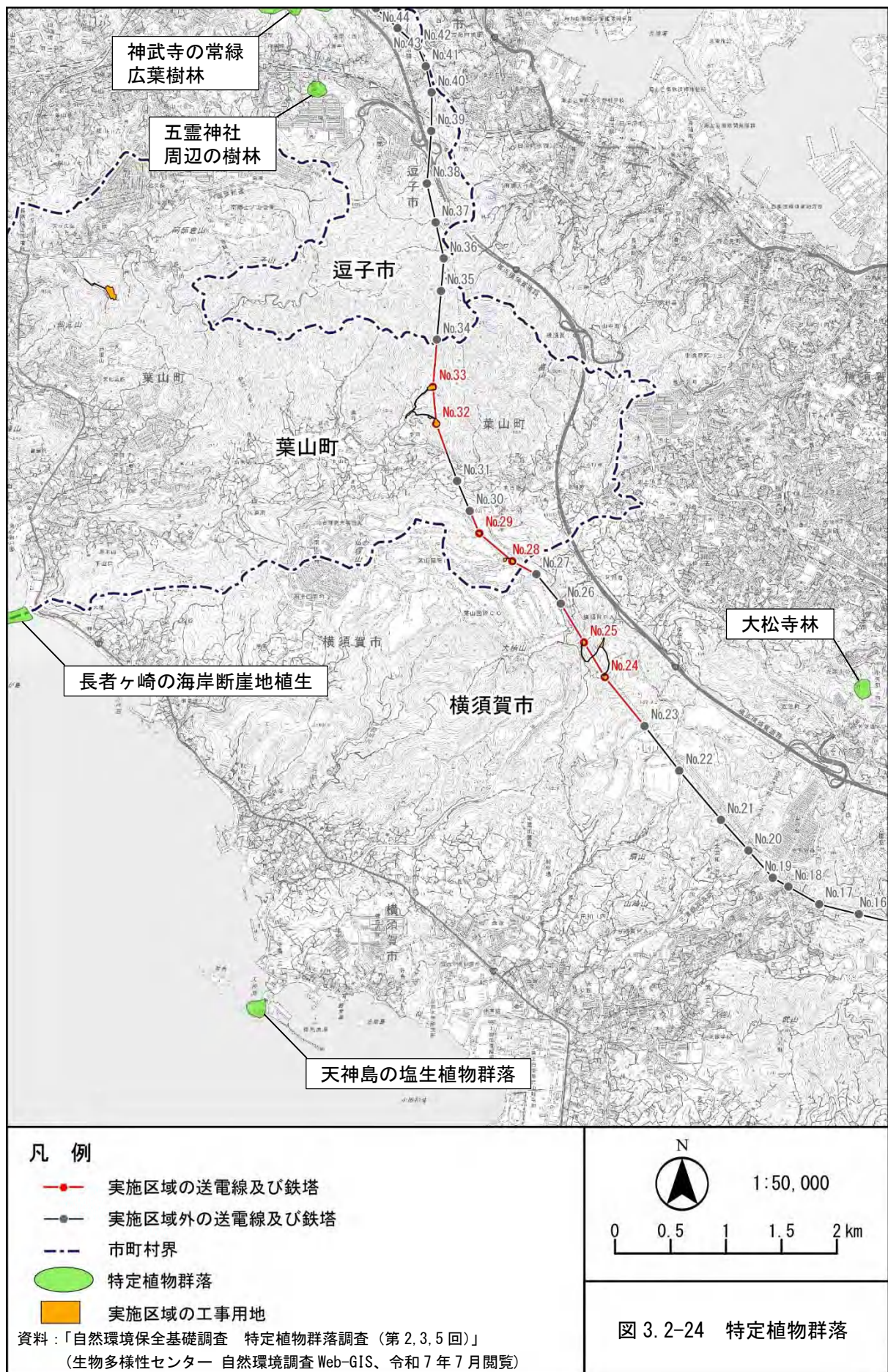
(4) 特定植物群落

実施区域及び周辺地域の特定植物群落は、表 3. 2-68 及び図 3. 2-24 に示すとおりであり、5 件の特定植物群落が存在している。

表 3. 2-68 特定植物群落の概要

名称	選定基準	相観区分	面積 (ha)
天神島の塩生植物群落	国内若干地域に分布するが、極めて稀な植物群落または個体群	暖温帯植生	0. 02
大松寺林	砂丘、断崖地、塩沼地、湖沼、河川、湿地、高山、石灰岩地等の特殊な立地に特有な植物群落または個体群で、その群落の特徴が典型的なもの	暖温帯常緑広葉高木林	1. 2
長者ヶ崎の海岸断崖地植生	砂丘、断崖地、塩沼地、湖沼、河川、湿地、高山、石灰岩地等の特殊な立地に特有な植物群落または個体群で、その群落の特徴が典型的なもの	海浜植生	3. 0
五霊神社周辺の樹林	郷土景観を代表する植物群落で、特にその群落の特徴が典型的なもの	暖温帯常緑広葉高木林	0. 23
神武寺の常緑広葉樹林	その他、学術上重要な植物群落または個体群	暖温帯常緑広葉高木林	5. 0

資料：「自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査（第 2, 3, 5 回）」（生物多様性センター 自然環境調査 Web-GIS）



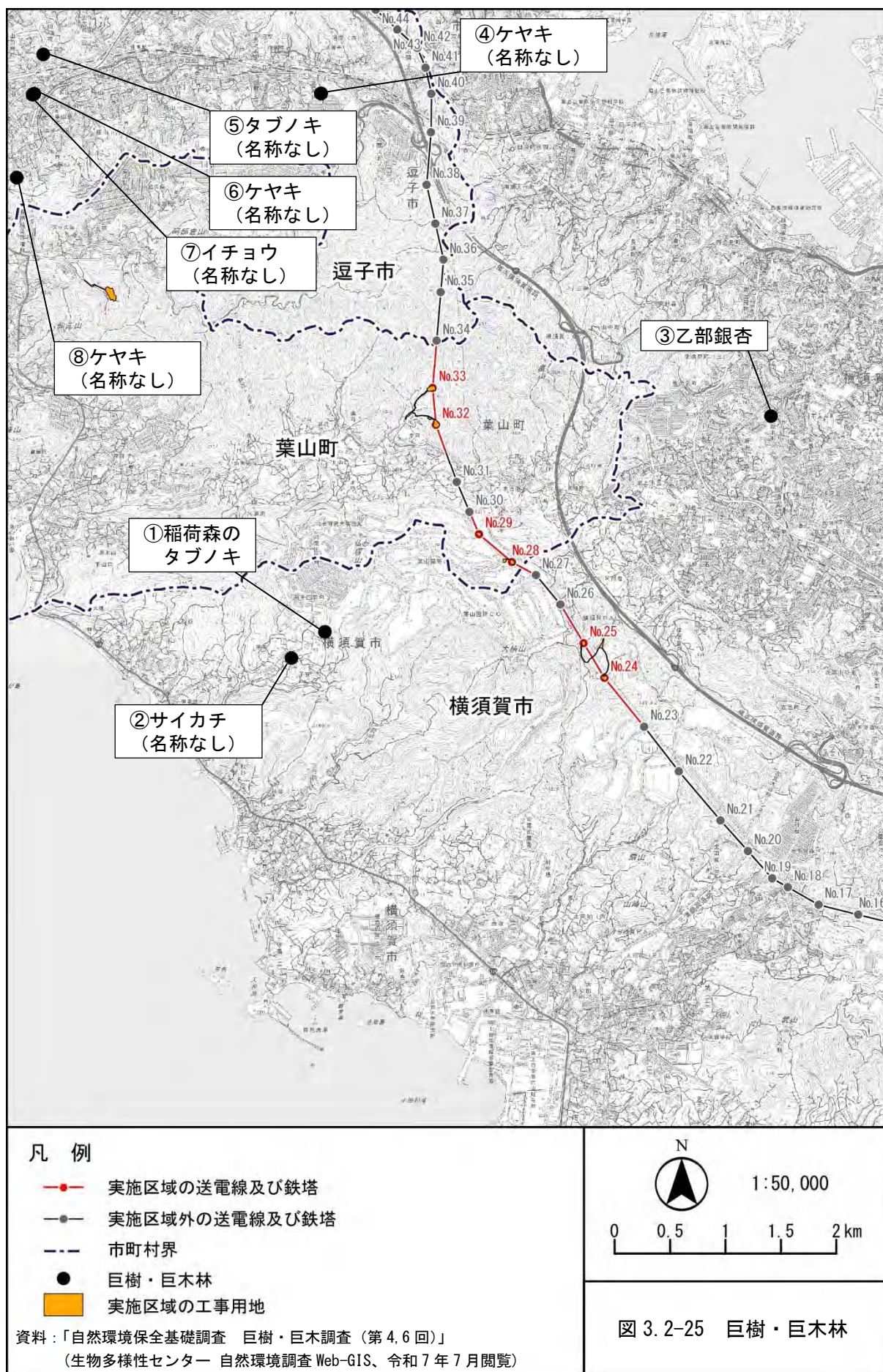
(5) 巨樹・巨木林

実施区域及び周辺地域の巨樹・巨木林は表 3.2-69 及び図 3.2-25 に示すとおりであり、8 件の巨樹・巨木林が存在している。

表 3.2-69 巨樹・巨木林の概要

番号	名称	樹種	幹周 (cm)	樹高 (m)
①	稲荷森のタブノキ	タブノキ	520cm	7m
②	サイカチ	サイカチ	790cm	15m
③	乙部銀杏	イチョウ	370cm	15m
④	(名称なし)	ケヤキ	320cm	17m
⑤	(名称なし)	タブノキ	350cm	25m
⑥	(名称なし)	ケヤキ	369cm	18m
⑦	(名称なし)	イチョウ	310cm	25m
⑧	(名称なし)	ケヤキ	430cm	10m

資料：「自然環境保全基礎調査 巨樹・巨木調査（第 4, 6 回）」（生物多様性センター 自然環境調査 Web-GIS）



2. 動物

実施区域及び周辺地域の動物の状況把握に用いた既存資料は、表 3. 2-70(1)～(2)に示すとおりである。また、重要種の選定は、表 3. 2-71 に示す基準により行った。

表 3. 2-70(1) 既存資料一覧（動物）

No.	資料名	抽出範囲
①	「自然環境保全基礎調査 動植物分布調査（第2回～第6回）」 （生物多様性情報システム 自然環境調査Web-GIS、令和6年11月閲覧）	該当市町村
②	「ガンカモ類の生息調査（平成23年度～令和2年度調査）」 （生物多様性センター、平成24年～令和3年）	該当市町村
③	「神奈川県レッドデータ生物調査報告書」 （神奈川県立生命の星・地球博物館、平成18年）	該当市町村
④	「神奈川県史 各論編 4（自然）」 （神奈川県民部県史編集室、昭和53年）	該当市町村
⑤	「郷土誌葉山 第15号 葉山町の歴史とくらし」 （葉山町、令和3年）	掲載種全て
⑥	「逗子市史 別編1（民俗編・自然編）」 （逗子市、昭和62年）	掲載種全て
⑦	「新横須賀市史 通史編◇自然・原始・古代・中世」 （横須賀市、平成24年）	掲載種全て
⑧	「地域環境評価書（資料編） -三浦半島北部地域-、-高座丘陵地域-」 （神奈川県環境部、平成2年）	該当市町村
⑨	「地域環境評価書（資料編） -三浦半島南部地域-」 （神奈川県環境部、平成2年）	該当市町村
⑩	「神奈川県内河川の底生動物Ⅱ」 （神奈川県環境科学センター、平成26年）	実施区域及び 周辺地域
⑪	「神奈川県内河川の魚類」 （神奈川県環境科学センター、平成26年）	実施区域及び 周辺地域
⑫	「神奈川県の動物相 神奈川県昆虫調査報告書」 （神奈川県教育委員会、昭和56年）	該当市町村
⑬	「下山川水系の魚類相について」 （三井 翔太・手良村 知功・三井 修、平成30年）	実施区域及び 周辺地域
⑭	「逗子の自然（改訂6版）」 （逗子市教育委員会 教育研究所、平成29年）	掲載種全て
⑮	「三浦半島の哺乳類」 （横須賀市自然博物館、昭和63年）	掲載種全て
⑯	「三浦半島の野鳥 -人と共に生きて-」 （横須賀市自然博物館、平成3年）	掲載種全て
⑰	「三浦半島の両生類-カエルやイモリのなかま-」 （横須賀市自然博物館、昭和54年）	掲載種全て
⑱	「三浦半島の爬虫類-その1. トカゲとカメのなかま-」 （横須賀市自然博物館、昭和60年）	掲載種全て
⑲	「三浦半島の爬虫類-その2. ヘビのなかま-」 （横須賀市自然博物館、昭和56年）	掲載種全て
⑳	「三浦半島の蝶」 （横須賀市自然博物館、昭和59年）	掲載種全て

表 3. 2-70 (2) 既存資料一覧 (動物)

No.	資料名	抽出範囲
②①	「三浦半島のトンボ」 (横須賀市自然博物館、昭和 62 年)	掲載種全て
②②	「三浦半島の水生昆虫」 (横須賀市自然博物館、昭和 61 年)	掲載種全て
②③	「三浦半島の帰化動物」 (横須賀市自然博物館、昭和 62 年)	掲載種全て
②④	「三浦半島の水辺-身近な生物と私たちの暮らし-」 (横須賀市自然博物館、平成 8 年)	掲載種全て
②⑤	「三浦半島の淡水魚」 (横須賀市自然博物館、昭和 58 年)	掲載種全て
②⑥	「三浦半島の自然環境 -5 万分の 1 自然環境図説明書-」 (横須賀市自然博物館、平成 3 年)	掲載種全て
②⑦	「神奈川の鳥 2011-15 -神奈川県鳥類目録Ⅶ-」 (日本野鳥の会神奈川支部、令和 2 年)	該当市町村
②⑧	「神奈川県昆虫誌 2018」 (神奈川県昆虫談話会、平成 30 年)	該当市町村、 三浦半島
②⑨	「神奈川自然誌資料 第 1 号～第 45 号」 (神奈川県立生命の星・地球博物館、令和 6 年 11 月閲覧)	該当市町村
③⑩	「神奈川県立博物館研究報告 (自然科学) 第 1 号～第 53 号」 (神奈川県立生命の星・地球博物館、令和 6 年 11 月閲覧)	該当市町村
③⑪	「逗子市文化財調査報告書 第十三集 水生生物」 (逗子市教育委員会、平成 2 年)	掲載種全て

表 3.2-71 重要種の選定基準（動物）

	法令・文献・資料名	区 分
①	「文化財保護法」（昭和 25 年法律第 214 号）、「神奈川県文化財保護条例」（昭和 30 年条例第 13 号）、「横須賀市文化財保護条例」（昭和 39 年条例第 41 号）、「葉山町文化財保護条例」（昭和 42 年条例第 7 号）、「逗子市文化財保護条例」（昭和 43 年条例第 11 号）	特天：国指定特別天然記念物 国天：国指定天然記念物 県天：神奈川県指定天然記念物 横天：横須賀市指定天然記念物 葉天：葉山町指定天然記念物 逗天：逗子市指定天然記念物
②	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成 4 年法律第 75 号）	国内：国内希少野生動植物種 特二：特定第二種国内希少野生動植物種
③	「環境省レッドリスト 2020」（環境省、令和 2 年 3 月）	EX：絶滅。我が国ではすでに絶滅したと考えられる種。 CR：絶滅危惧 IA 類。ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの。 EN：絶滅危惧 IB 類。IA 類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの。 VU：絶滅危惧 II 類。絶滅の危険が増大している種。 NT：準絶滅危惧。現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種。 DD：情報不足。評価するだけの情報が不足している種。 LP：地域個体群。地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの。
④	「神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006」（神奈川県立生命の星・地球博物館、平成 18 年）	EX：県内では、すでに絶滅したと考えられる種。 CR+EN：絶滅危惧 I 類。県内において、絶滅の危機に瀕している種 CR：絶滅危惧 IA 類。県内において、ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高いもの。 EN：絶滅危惧 IB 類。県内において、IA 類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの。 VU：絶滅危惧 II 類。県内において、絶滅の危険が増大している種。 NT：準絶滅危惧。県内において、現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種。 DD：情報不足。県内において、評価するだけの情報が不足している種。 減少：減少種。かつては県内に広く分布していたと考えられる種のうち、生息地あるいは生息個体数が著しく減少している種。 希少：希少種。生息域が狭域であるなど生息環境が脆弱なもののうち、現在は個体数をとくに減少させていないが、生息地の環境悪化によっては絶滅が危惧される種。 要注意：要注意種。前回、減少種又は希少種と判定され、かつては広く分布していたのに、生息地又は生息個体数が明らかに減少傾向にある種。 注目：注目種。生息環境が特殊なもののうち、県内における衰退は目立たないが、環境悪化が生じた際には絶滅が危惧される種。 不明種：過去に不確実な記録だけが残されている種。

(1) 哺乳類

実施区域及び周辺地域の哺乳類相は、表 3.2-72 に示すとおりである。7 目 14 科 27 種の哺乳類が確認されており、このうち重要種に該当する種は 8 種である。

表 3.2-72 既存資料により確認された哺乳類

目名	科名	種名	選定基準			
			①	②	③	④
モグラ目	トガリネズミ科	ジネズミ				
	モグラ科	ヒミズ				
		アズマモグラ				
コウモリ目	キクガシラコウモリ科	コキクガシラコウモリ				VU
		キクガシラコウモリ				CR+EN
	ヒナコウモリ科	モモジロコウモリ				NT
		アブラコウモリ				
		ユビナガコウモリ				VU
サル目	オナガザル科	ニホンザル				
ウサギ目	ウサギ科	ノウサギ				
ネズミ目	リス科	クリハラリス				
		ムササビ				
	ネズミ科	ハタネズミ				NT
		アカネズミ				
		ヒメネズミ				
		カヤネズミ				NT
		ハツカネズミ				
		クマネズミ				
		ドブネズミ				
	ヌートリア科	ヌートリア				
ネコ目	アライグマ科	アライグマ				
	イヌ科	タヌキ				
		キツネ				NT
	イタチ科	イタチ				NT
		ニホンアナグマ				
	ジャコウネコ科	ハクビシン				
ウシ目	イノシシ科	イノシシ				
7 目	14 科	27 種	0 種	0 種	0 種	8 種
			8 種			

注) 重要種の選定基準は、表 3.2-71 を参照。

(2) 鳥類

実施区域及び周辺地域の鳥類相は、表 3.2-73(1)～(6)に示すとおりである。22 目 68 科 281 種の鳥類が確認されており、このうち重要種に該当する種は 127 種である。

なお、山間部に鉄塔の建て替えを行うという事業特性から重要な猛禽類に配慮するため、「猛禽類保護の進め方（改訂版）－特にイヌワシ、クマタカ、オオタカについて－」（平成 24 年、環境省自然環境局野生生物課）に準じて、先行して現地調査を実施している。令和 3 年及び令和 4 年の現地調査における重要な猛禽類の確認状況は、表 3.2-74 に示すとおりである。

表 3.2-73(1) 既存資料により確認された鳥類

目名	科名	種名	選定基準				
			①	②	③	④	
						非繁殖期	繁殖期
キジ目	キジ科	ウズラ			VU	VU	
		コジュケイ					
		ヤマドリ				VU	VU
		キジ					
		コウライキジ					
カモ目	カモ科	シナガチョウ					
		コクガン	国天		VU		
		コブハクチョウ					
		コハクチョウ					
		オオハクチョウ					
		バリケン					
		オシドリ			DD	減少	希少
		オカヨシガモ					
		ヨシガモ					
		ヒドリガモ					
		アメリカヒドリ					
		マガモ					
		アヒル					
		カルガモ					
		ハシビロガモ					
		オナガガモ					
		コガモ					
		ホシハジロ					
		キンクロハジロ					
		スズガモ					
		シノリガモ					
		ビロードキンクロ					
		クロガモ					
		ホオジロガモ					
		ウミアイサ				NT	
カイツブリ目	カイツブリ科	カイツブリ					
		アカエリカイツブリ					
		カンムリカイツブリ					
		ミミカイツブリ					
		ハジロカイツブリ					
ネッタイチョウ目	ネッタイチョウ科	アカオネッタイチョウ			EN		
ハト目	ハト科	カラスバト	国天		NT	EX	EX
		カワラバト(ドバト)					

表 3. 2-73 (2) 既存資料により確認された鳥類

目名	科名	種名	選定基準				
			①	②	③	④	
						非繁殖期	繁殖期
ハト目	ハト科	キジバト					
		アオバト				注目	注目
アビ目	アビ科	アビ					
		オオハム					
		シロエリオオハム					
ミズナギドリ目	アホウドリ科	コアホウドリ			EN		
		クロアシアホウドリ					
	ミズナギドリ科	フルマカモメ					
		シロハラミズナギドリ			DD		
		オオミズナギドリ					
		ハイイロミズナギドリ					
		ハシボソミズナギドリ					
		アカアシミズナギドリ					
	ウミツバメ科	クロコシジロウミツバメ		国内	CR		
		コシジロウミツバメ					
		オーストンウミツバメ			NT		
		ハイイロウミツバメ					
カツオドリ目	グンカンドリ科	コグンカンドリ					
	ウ科	ヒメウ			EN	NT	
		カワウ					
		ウミウ				NT	
ペリカン目	サギ科	ヨシゴイ			NT		VU
		オオヨシゴイ		国内	CR	VU	
		ミゾゴイ			VU		CR+EN
		ゴイサギ					
		ササゴイ					VU
		アカガシラサギ					
		アマサギ					減少
		アオサギ					
		ダイサギ					
		チュウサギ			NT		
		コサギ					
		クロサギ					VU
	トキ科	ヘラサギ			DD		
ツル目	クイナ科	シマクイナ		国内	EN		
		クイナ				VU	
		ヒクイナ			NT		CR+EN
		バン					
		オオバン					
カッコウ目	カッコウ科	ジュウイチ					NT
		ホトトギス					
		ツツドリ					
		カッコウ					VU
ヨタカ目	ヨタカ科	ヨタカ			NT		VU
アマツバメ目	アマツバメ科	ハリオアマツバメ					
		アマツバメ					
		ヒメアマツバメ					減少
チドリ目	チドリ科	タゲリ				VU	
		ケリ			DD	NT	希少
		ムナグロ				減少	

表 3. 2-73 (3) 既存資料により確認された鳥類

目名	科名	種名	選定基準				
			①	②	③	④	
						非繁殖期	繁殖期
チドリ目	チドリ科	ダイゼン				減少	
		ハジロコチドリ					
		イカルチドリ				注目	NT
		コチドリ					注目
		シロチドリ			VU	NT	VU
		メダイチドリ				NT	
		オオメダイチドリ					
	ミヤコドリ科	ミヤコドリ					
	セイタカシギ科	セイタカシギ			VU		
	シギ科	ヤマシギ				希少	
		オオジシギ			NT		EX
		タシギ				注目	
		オオソリハシシギ			VU	VU	
		チュウシャクシギ				VU	
		ダイシャクシギ				CR+EN	
		ハウロクシギ			VU	CR+EN	
		ツルシギ			VU	NT	
		アカアシシギ			VU	NT	
		アオアシシギ				NT	
		クサシギ				NT	
		タカブシギ			VU	NT	
		キアシシギ				VU	
		メリケンキアシシギ					
		ソリハシシギ				VU	
		イソシギ				注目	希少
		キョウジョシギ				VU	
		オバシギ				VU	
		ミユビシギ				CR+EN	
		トウネン				VU	
		ハマシギ			NT	VU	
		キリアイ					
		アカエリヒレアシシギ					
		ハイイロヒレアシシギ					
	タマシギ科	タマシギ			VU	希少	CR+EN
	ツバメチドリ科	ツバメチドリ			VU		
	カモメ科	ミツユビカモメ					
		ユリカモメ					
		ウミネコ					
		カモメ					
		ワシカモメ					
		シロカモメ					
		セグロカモメ					
		オオセグロカモメ			NT		
		オオアジサシ			VU		
		コアジサシ			VU		CR+EN
		コシジロアジサシ					
		アジサシ					
		クロハラアジサシ					
	トウゾクカモメ科	オオトウゾクカモメ					
		トウゾクカモメ					

表 3.2-73(4) 既存資料により確認された鳥類

目名	科名	種名	選定基準				
			①	②	③	④	
						非繁殖期	繁殖期
チドリ目	トウゾクカモメ科	クロトウゾクカモメ					
		シロハラトウゾクカモメ					
	ウミスズメ科	ウミバト					
		ケイマフリ			VU		
		マダラウミスズメ			DD		
		ウミスズメ			CR		
		カンムリウミスズメ	国天		VU		
タカ目	ミサゴ科	ミサゴ			NT	NT	VU
		ハチクマ			NT		CR+EN
	タカ科	トビ					
		オジロワシ	国天	国内	VU		
		オオワシ	国天	国内	VU		
		チュウヒ		国内	EN	VU	
		ハイイロチュウヒ					
		アカハラダカ					
		ツミ				希少	VU
		ハイタカ			NT	希少	DD
		オオタカ			NT	希少	VU
		サシバ			VU		CR+EN
		ノスリ				希少	VU
		ケアシノスリ					
フクロウ目	フクロウ科	オオコノハズク				希少	CR+EN
		コノハズク					CR+EN
		フクロウ					NT
		アオバズク					VU
サイチョウ目	ヤツガシラ科	ヤツガシラ					
ブッポウソウ目	カワセミ科	アカショウビン					VU
		カワセミ					
		ヤマセミ					希少
	ブッポウソウ科	ブッポウソウ			EN		CR+EN
キツツキ目	キツツキ科	アリスイ					
		コゲラ					
		アカゲラ					
		アオゲラ					
ハヤブサ目	ハヤブサ科	チョウゲンボウ					
		アカアシチョウゲンボウ					
		コチョウゲンボウ					
		チゴハヤブサ					
		ハヤブサ		国内	VU	希少	CR+EN
インコ目	インコ科	セキセイインコ					
		ホンセイインコ					
スズメ目	サンショウクイ科	サンショウクイ			VU		VU
	オウチュウ科	ハイイロオウチュウ					
	カササギヒタキ科	サンコウチョウ					VU
	モズ科	チゴモズ			CR		CR+EN
		モズ					減少
	カラス科	カケス					
		オナガ					
		ミヤマガラス					

表 3. 2-73 (5) 既存資料により確認された鳥類

目名	科名	種名	選定基準				
			①	②	③	④	
						非繁殖期	繁殖期
スズメ目	カラス科	ハシボソガラス					
		ハシブトガラス					
	キクイタダキ科	キクイタダキ					希少
	シジュウカラ科	コガラ				NT	VU
		ヤマガラ					
		ヒガラ					
		シジュウカラ					
	ヒバリ科	ヒバリ					減少
	ツバメ科	ショウドウツバメ					
		ツバメ					減少
		コシアカツバメ					減少
		イワツバメ					
	ヒヨドリ科	コウラウン					
		ヒヨドリ					
	ウグイス科	ウグイス					
		ヤブサメ					NT
	エナガ科	エナガ					
	ムシクイ科	オオムシクイ			DD		
		メボソムシクイ					VU
		エゾムシクイ					NT
		センダイムシクイ					NT
		イイジマムシクイ	国天		VU		
	チメドリ科	ガビチョウ					
		ソウシチョウ					
	メジロ科	メジロ					
	センニュウ科	シマセンニュウ					
		オオセッカ		国内	EN		
		エゾセンニュウ					
	ヨシキリ科	オオヨシキリ					VU
		コヨシキリ					CR+EN
	セッカ科	セッカ				減少	減少
	レンジャク科	キレンジャク					
		ヒレンジャク					
	ゴジュウカラ科	ゴジュウカラ					NT
	ミソサザイ科	ミソサザイ					
	ムクドリ科	ムクドリ					
		コムクドリ					
	カワガラス科	カワガラス				減少	減少
	ヒタキ科	マミジロ					希少
		トラツグミ					減少
		クロツグミ					VU
		マミチャジナイ					
		シロハラ					
		アカハラ					減少
		アカコッコ	国天	国内	EN		
		ツグミ					
		コマドリ					CR+EN
		ノゴマ					
		コルリ					VU
		ルリビタキ					VU

表 3. 2-73 (6) 既存資料により確認された鳥類

目名	科名	種名	選定基準				
			①	②	③	④	
						非繁殖期	繁殖期
スズメ目	ヒタキ科	ジョウビタキ					
		ノビタキ					
		イソヒヨドリ					
		ヒメイソヒヨ					
		エゾビタキ					
		サメビタキ					
		コサメビタキ					CR+EN
		キビタキ					減少
		オジロビタキ					
		オオルリ					NT
	イワヒバリ科	カヤクグリ					
	スズメ科	ニューナイスズメ				CR+EN	
		スズメ					
	ハタオリドリ科	ベニビタイキンランチョウ					
	カエデチョウ科	ベニスズメ					
		ヘキチョウ					
		ブンチョウ					
	セキレイ科	イワミセキレイ					
		キセキレイ					減少
		ハクセキレイ					
		セグロセキレイ					減少
		ビンズイ					VU
		タヒバリ					
	アトリ科	アトリ					
		カワラヒワ					減少
		マヒワ					
		ハギマシコ					
		ベニマシコ					
		オオマシコ					
		ウソ					
		シメ					
		イカル					
		カナリア					
	アメリカムシクイ科	キツタアメリカムシクイ					
	ホオジロ科	シラガホオジロ					
		ホオジロ					
		カシラダカ					
		ミヤマホオジロ					
		ノジコ			NT		希少
		アオジ					VU
		クロジ				減少	CR+EN
		オオジュリン				VU	
	フウキンチョウ科	コウカンチョウ					
22 目	68 科	281 種	7 種	9 種	54 種	51 種	72 種
			127 種				

注) 重要種の選定基準は、表 3. 2-71 を参照。

表 3.2-74 現地調査における重要な猛禽類の確認状況

種和名	確認回数			選定基準			
	調査年		合計	①	②	③	④
	令和3年	令和4年					
ミサゴ	9	9	18			NT	VU
ハチクマ	3	2	5			NT	CR+EN
ツミ	2	1	3				VU
ハイタカ	4	4	8			NT	DD
オオタカ	31	60	91			NT	VU
サシバ	1	1	2			VU	CR+EN
ノスリ	10	12	22				VU
ハヤブサ	3	8	11		国内	VU	CR+EN

注) 重要種の選定基準は、表 3.2-71 を参照。

(3) 両生類

実施区域及び周辺地域の両生類相は、表 3.2-75 に示すとおりである。2 目 7 科 14 種の両生類が確認されており、このうち重要種に該当する種は 7 種である。

表 3.2-75 既存資料により確認された両生類

目名	科名	種名	選定基準			
			①	②	③	④
有尾目	サンショウウオ科	トウキョウサンショウウオ		特二	VU	CR+EN
	イモリ科	アカハライモリ			NT	CR+EN
無尾目	ヒキガエル科	アズマヒキガエル				要注意
	アマガエル科	ニホンアマガエル				
	アカガエル科	タゴガエル				
		ニホンアカガエル				VU
		ヤマアカガエル				
		トウキョウダルマガエル			NT	VU
		ウシガエル				
		ムカシツチガエル				要注意
	ヌマガエル科	ヌマガエル				
	アオガエル科	シュレーゲルアオガエル				要注意
		モリアオガエル				
		カジカガエル				
2 目	7 科	14 種	0 種	1 種	3 種	7 種
			7 種			

注 1) 重要種の選定基準は、表 3.2-71 を参照。

注 2) モリアオガエルは選定基準④の重要種に該当するが、調査地域では国内移入種であるため重要種から除外した。国内移入種の定義は以下のとおり。

- ・国内には分布するが、調査地域には自然分布しない種

注 3) ムカシツチガエルは、既存資料及び選定基準では旧名であるツチガエルで記載されている種である。

(4) 爬虫類

実施区域及び周辺地域の爬虫類相は表 3.2-76 に示すとおりである。2 目 10 科 17 種の爬虫類が確認されており、このうち重要種に該当する種は 8 種である。

表 3.2-76 既存資料により確認された爬虫類

目名	科名	種名	選定基準			
			①	②	③	④
カメ目	イシガメ科	ニホンイシガメ			NT	CR+EN
		クサガメ				
		ハナガメ				
	ヌマガメ科	ミシシippアカミミガメ				
	スッポン科	ニホンスッポン			DD	
	カミツキガメ科	カミツキガメ				
有鱗目	ヤモリ科	ニホンヤモリ				
	トカゲ科	ヒガシニホントカゲ				要注意
	カナヘビ科	ニホンカナヘビ				
	タカチホヘビ科	タカチホヘビ				
	ナミヘビ科	シマヘビ				要注意
		アオダイショウ				要注意
		ジムグリ				
		シロマダラ				
		ヒバカリ				NT
		ヤマカガシ				要注意
	クサリヘビ科	ニホンマムシ				要注意
2 目	10 科	17 種	0 種	0 種	2 種	7 種
			8 種			

注) 重要種の選定基準は、表 3.2-71 を参照。

(5) 昆虫類

実施区域及び周辺地域の昆虫類相は表 3. 2-77 に、重要種は表 3. 2-78(1)～(6)に示すとおりである。25 目 384 科 4, 468 種の昆虫類が確認されており、このうち重要種に該当する種は 286 種である。

なお、既存資料により確認された昆虫類（全種）は、資料編に示した。

表 3. 2-77 既存資料により確認された昆虫類

目名	科数	種数
トビムシ目（粘管目）	10 科	22 種
カマアシムシ目	2 科	14 種
イシノミ目（古顎目）	2 科	2 種
カゲロウ目（蜉蝣目）	10 科	25 種
トンボ目（蜻蛉目）	9 科	64 種
ゴキブリ目（網翅目）	2 科	4 種
カマキリ目（螳螂目）	2 科	6 種
シロアリ目（等翅目）	2 科	2 種
ハサミムシ目（革翅目）	2 科	2 種
カワゲラ目（セキ翅目）	4 科	7 種
バッタ目（直翅目）	15 科	81 種
ナナフシ目（竹節虫目）	1 科	5 種
カジリムシ目（咀嚼目）	2 科	3 種
カメムシ目（半翅目）	62 科	453 種
ヘビトンボ目	2 科	3 種
ラクダムシ目	1 科	1 種
アザミウマ目（総翅目）	4 科	94 種
アミメカゲロウ目（脈翅目）	7 科	24 種
シリアゲムシ目（長翅目）	2 科	2 種
ノミ目（隠翅目）	2 科	2 種
トビケラ目（毛翅目）	15 科	27 種
チョウ目（鱗翅目）	46 科	1, 056 種
ハエ目（双翅目）	49 科	384 種
コウチュウ目（鞘翅目）	93 科	1, 673 種
ハチ目（膜翅目）	38 科	512 種
合計：25 目 384 科 4, 468 種		

表 3.2-78(1) 既存資料により確認された昆虫類の重要種

目名	科名	種名	選定基準			
			①	②	③	④
トンボ目（蜻蛉目）	アオイトトンボ科	ホソミオツネントンボ				要注意
		オツネントンボ				VU
	イトトンボ科	ホソミイトトンボ				DD
		キイトトンボ				EN
		ベニイトトンボ			NT	CR
		クロイトトンボ				要注意
		セスジイトトンボ				要注意
		オオイトトンボ				CR
	モノサシトンボ科	モノサシトンボ				NT
	カワトンボ科	ハグロトンボ				要注意
		アオハダトンボ			NT	VU
		ニホンカワトンボ				NT
	ヤンマ科	ネアカヨシヤンマ			NT	CR
		コシボソヤンマ				要注意
		カトリヤンマ				NT
		ミルンヤンマ				要注意
		サラサヤンマ				EN
	サナエトンボ科	ヤマサナエ				要注意
		キイロサナエ			NT	CR
		タイワンウチワヤンマ				DD
		ホンサナエ				VU
		コサナエ				EN
	エゾトンボ科	コヤマトンボ				NT
		ハネヒロエゾトンボ			VU	EX
		タカネトンボ				要注意
	トンボ科	コフキトンボ				要注意
		ヨツボシトンボ				VU
		ハラヒロトンボ				要注意
		シオヤトンボ				要注意
		チョウトンボ				EN
		ナツアカネ				要注意
		マユタテアカネ				要注意
		マイコアカネ				DD
		ヒメアカネ				要注意
		ミヤマアカネ				NT
		リスアカネ				要注意
バッタ目（直翅目）	クツワムシ科	クツワムシ				要注意
	キリギリス科	オナガササキリ				要注意
		ヒガシキリギリス				要注意
		ササキリモドキ				希少
	ケラ科	ケラ				要注意
	マツムシ科	スズムシ				要注意
		ヒロバネカンタン				NT
		マツムシ				要注意
	カネタタキ科	アシジマカネタタキ				CR+EN
		イソカネタタキ				NT
	ヒバリモドキ科	ウミコオロギ				VU
		ウスモンウミコオロギ				CR+EN
		ヒメスズ				希少
	バッタ科	カワラバッタ				CR+EN

表 3. 2-78(2) 既存資料により確認された昆虫類の重要種

目名	科名	種名	選定基準			
			①	②	③	④
バッタ目（直翅目）	バッタ科	ショウリョウバッタモドキ				要注意
		イナゴモドキ				NT
		ツマグロバッタ				NT
カメムシ目 （半翅目）	セミ科	ハルゼミ				要注意
	ヨコバイ科	フクロクヨコバイ			NT	
	クビナガカメムシ科	クロクビナガカメムシ				DD
	サシガメ科	アシマダラアカサシガメ				DD
		アカヘリサシガメ				DD
	ゲンバウムシ科	ヤブガラシゲンバウムシ				DD
	トコジラミ科	トコジラミ				DD
	ヘリカメムシ科	アズキヘリカメムシ				DD
		ミナミトゲヘリカメムシ				DD
	ナガカメムシ科	ヒメマダラナガカメムシ				DD
	カメムシ科	アヤナミカメムシ				注目
		キュウシュウクチブトカメムシ				注目
		フタテンカメムシ				DD
		イネカメムシ				DD
	アメンボ科	オオアメンボ				NT
		エサキアメンボ			NT	CR
		ババアメンボ			NT	EN
		ハネナシアメンボ				CR
	イトアメンボ科	イトアメンボ			VU	CR
	カタビロアメンボ科	ケシウミアメンボ				DD
	ミズムシ科（昆）	ミヤケミズムシ			NT	CR
	コオイムシ科	コオイムシ			NT	EN
		タガメ		特二	VU	EX
トビケラ目（毛翅目）	ヒゲナガトビケラ科	ミサキツノトビケラ				EX
チョウ目（鱗翅目）	ミノガ科	オオミノガ				VU
	セセリチョウ科	アオバセセリ本土亜種				要注意
		ホソバセセリ				VU
		ギンイチモンジセセリ			NT	NT
		オオチャバネセセリ				VU
	シジミチョウ科	ミドリシジミ				NT
		シルビアシジミ			EN	CR
	タテハチョウ科	ウラギンスジヒョウモン			VU	EN
		オオウラギンスジヒョウモン				NT
		ヒョウモンチョウ本州中部亜種			VU	
		スミナガシ本土亜種				要注意
		ウラギンヒョウモン				VU
		クジャクチョウ				VU
		アサマイチモンジ				VU
		クモガタヒョウモン				EN
		オオムラサキ			NT	NT
	シロチョウ科	ツマグロキチョウ			EN	EX
	メイガ科	ミサキクシヒゲシマメイガ				CR+EN
	シャクガ科	ヒメウコンエダシャク				不明種
		クロモンチビヒメシャク				CR+EN
		ギフウスキナミシャク				希少
	ヤママユガ科	オナガミズアオ本土亜種			NT	
	スズメガ科	スキバホウジャク			VU	

表 3. 2-78(3) 既存資料により確認された昆虫類の重要種

目名	科名	種名	選定基準			
			①	②	③	④
チョウ目（鱗翅目）	シャチホコガ科	カバイロシャチホコ			NT	
	ヒトリガ科	マエアカヒトリ			NT	CR+EN
		ヤネホソバ			NT	
	ドクガ科	スゲドクガ			NT	
	ヤガ科	ナミグルマアツバ				NT
		シロミハイイロヨトウ				DD
		ハマオモトヨトウ				NT
		シロエグリコヤガ				CR+EN
		オオチャバネヨトウ			VU	CR+EN
		ニセトガリヨトウ			NT	
	コブガ科	サラサリンガ				NT
ハエ目（双翅目）	ヒメガガンボ科	ヒトエグサガガンボ				DD
	ミズアブ科	コガタミズアブ				DD
	アブ科	ウシアブ				DD
	ツルギアブ科	ナギサツルギアブ				希少
	ハナアブ科	ミツオビヒゲナガハナアブ				DD
	ミバエ科	ミカドハマダラミバエ				DD
		ミサキオナガミバエ				VU
コウチュウ目 （鞘翅目）	ホソクビゴミムシ科	ヒメホソクビゴミムシ				VU
	オサムシ科	オオヨツボシゴミムシ				VU
		アシミゾヒメヒラタゴミムシ				NT
		クロズカタキバゴミムシ				NT
		ヨツモンカタキバゴミムシ				NT
		アオヘリミズギワゴミムシ				NT
		オオズミズギワゴミムシ				DD
		ハマベミズギワゴミムシ				NT
		ウミミズギワゴミムシ			NT	VU
		アカガネアオゴミムシ				NT
		ヒトツメアオゴミムシ			NT	EX
		コアトワアオゴミムシ				NT
		ツヤヒメヒョウタンゴミムシ				DD
		クロヒメヒョウタンゴミムシ				NT
		オサムシモドキ				VU
		オオアオホソゴミムシ				CR+EN
		コハンミョウモドキ			EN	VU
		ヤノホソコミズギワゴミムシ				DD
		イマイチビアトクリゴミムシ				DD
		キベリマルクビゴミムシ			EN	CR+EN
		ナカグロキバネクビナガゴミムシ				VU
		オオトックリゴミムシ			NT	NT
		ヨツボシゴミムシ				NT
		トカラコミズギワゴミムシ				DD
		オオホソチビゴミムシ				DD
		イグチケブカゴミムシ			NT	NT
		オオナガゴミムシ				NT
		コホソナガゴミムシ				NT
		アシミゾナガゴミムシ				NT
		ヒョウタンゴミムシ				VU
		セグロマメゴモクムシ				NT
		クロサマメゴモクムシ				NT

表 3.2-78(4) 既存資料により確認された昆虫類の重要種

目名	科名	種名	選定基準			
			①	②	③	④
コウチュウ目 (鞘翅目)	オサムシ科	タオマメゴモクムシ				NT
		キアシツヤヒラタゴミムシ				NT
		オビモンコミズギワゴミムシ				NT
		クビナガヨツボシゴミムシ			DD	VU
		ミウラメクラチビゴミムシ				CR+EN
		コバヤシツヤゴモクムシ				VU
	ハンミョウ科	シロヘリハンミョウ			NT	VU
		カワラハンミョウ			EN	EX
	ゲンゴロウ科	クロズマメゲンゴロウ				VU
		キボシケシゲンゴロウ			DD	EN
		クロゲンゴロウ			NT	CR
		ゲンゴロウ		特二	VU	EX
		マルガタゲンゴロウ		特二	VU	CR
		シマゲンゴロウ			NT	EN
		ウスイロシマゲンゴロウ				DD
		ケシゲンゴロウ			NT	CR
		ヒメケシゲンゴロウ			VU	EX
		ツブゲンゴロウ				EX
		コウベツブゲンゴロウ			NT	DD
		ルイスツブゲンゴロウ			VU	EX
	ミズスマシ科	オオミズスマシ			NT	CR
		コミズスマシ			EN	VU
		ミズスマシ			VU	NT
	コガシラミズムシ科	キイロコガシラミズムシ			VU	EX
		カミヤコガシラミズムシ			EN	EX
		マダラコガシラミズムシ			VU	DD
		コガシラミズムシ				EN
	コツブゲンゴロウ科	コツブゲンゴロウ				VU
	カワラゴミムシ科	カワラゴミムシ				VU
	ダルマガムシ科	クロコブセスジダルマガムシ				NT
	ガムシ科	タマガムシ				EN
		チビヒラタガムシ				DD
		ルイスヒラタガムシ				DD
		コガムシ			DD	NT
		ガムシ			NT	CR
	エンマムシ科	ツヤハマベエンマムシ				CR+EN
		ヒメハマベエンマムシ				CR+EN
		カラカネハマベエンマムシ				CR+EN
		ルリエンマムシ				VU
	シデムシ科	ヤマトモンシデムシ			NT	VU
		ヒメヒラタシデムシ				VU
	ハネカクシ科	オオズウミハネカクシ			EN	NT
		カタモンハネカクシ				CR+EN
	クワガタムシ科	ネプトクワガタ本土亜種				EX
		オオクワガタ			VU	CR+EN
		ヒラタクワガタ本土亜種				VU
		ミヤマクワガタ				要注意
	アカマダラセンコガネ科	アカマダラセンコガネ				NT
	コガネムシ科	アカマダラハナムグリ			DD	NT
		オオフタホシマダソコガネ				NT

表 3. 2-78(5) 既存資料により確認された昆虫類の重要種

目名	科名	種名	選定基準			
			①	②	③	④
コウチュウ目 (鞘翅目)	コガネムシ科	ヒメキイロマグソコガネ			NT	VU
		ヤマトケシマグソコガネ				NT
		マルエンマコガネ				CR+EN
		シロスジコガネ				VU
		ヒゲコガネ				VU
		シラホシハナムグリ				EX
		ムラサキツヤハナムグリ				VU
		アイヌケシマグソコガネ				NT
		トラハナムグリ				CR+EN
	タマムシ科	ウバタマムシ				NT
		タマムシ				要注意
		クロマダラタマムシ				EX
		アヤムナビロタマムシ				VU
	コメツキムシ科	イズヒメサビキコリ				VU
		ウバタマコメツキ				NT
	ホタル科	ヘイケボタル				NT
		スジグロボタル				NT
	カッコウムシ科	ヤマトヒメメダカカッコウムシ				VU
	ジョウカイモドキ科	クロキオビジョウカイモドキ				VU
		ルリキオビジョウカイモドキ				NT
		イソジョウカイモドキ			DD	VU
	テントウムシ科	ヤマトヒメテントウ				NT
	ヒラタムシ科	カギヒゲチビヒラタムシ				VU
	ヒメハナムシ科	チャイロズマルヒメハナムシ				NT
	アリモドキ科	ヒゲブトホソアリモドキ				VU
	ナガクチキムシ科	ヒゲブトナガクチキ				NT
	ツチハンミョウ科	マメハンミョウ				要注意
	カミキリモドキ科	サタカミキリモドキ				VU
	ゴミムシダマシ科	ヤマトオサムシダマシ			NT	EX
		オオマルチビゴミムシダマシ				VU
		シナスナゴミムシダマシ				CR+EN
		ハネナシセスジナガキマワリ				DD
		ニセマグソコガネダマシ				CR+EN
	カミキリムシ科	ヒメビロウドカミキリ			NT	CR+EN
		ヒゲナガモモブトカミキリ				NT
		トゲヒゲトビイロカミキリ				希少
		ルリカミキリ				VU
		シロスジカミキリ				要注意
		アカネトラカミキリ				NT
		ハンノキカミキリ				VU
		ケブトハナカミキリ				希少
		アカアシオオアオカミキリ				CR+EN
		オオアオカミキリ				DD
		ミドリカミキリ				NT
		クロトラカミキリ				VU
		ベーツヒラタカミキリ				VU
		キイロトラカミキリ				要注意
		ナカバヤシモモブトカミキリ				VU
		ムネアカクロハナカミキリ				NT
		コゲチャサビカミキリ				希少

表 3. 2-78 (6) 既存資料により確認された昆虫類の重要種

目名	科名	種名	選定基準			
			①	②	③	④
コウチュウ目 (鞘翅目)	カミキリムシ科	ヨツボシカミキリ			EN	CR+EN
		アサカミキリ			VU	CR+EN
		モモグロハナカミキリ				NT
		マルクビケマダラカミキリ				NT
		トラフカミキリ				要注意
		ムネマダラトラカミキリ				NT
		ブドウトラカミキリ				NT
		アオスジカミキリ				VU
	ハムシ科	スジカミナリハムシ本州以南亜種				DD
		クロマメゾウムシ				VU
		イネネクイハムシ				VU
		ジュンサイハムシ				CR+EN
		スイバトビハムシ				DD
		セスジクビボソハムシ				NT
		キアシクビボソハムシ				CR+EN
		シリダコグミトビハムシ				DD
	ゾウムシ科	ヨツホシハナコブヒメゾウムシ				CR+EN
		ハマベキクイゾウムシ				NT
	チビゾウムシ科	ヒシチビゾウムシ				VU
	キクイムシ科	ビローシマコキクイムシ				NT
ハチ目 (膜翅目)	コンボウハバチ科	ホシアシブトハバチ			DD	
	ヒメバチ科	コンボウアメバチ				VU
	セイボウ科	オオセイボウ			DD	
	スズメバチ科	ヤマトアシナガバチ			DD	VU
		モンスズメバチ			DD	
	クモバチ科	ムツボシクモバチ			NT	EX
		キオビクモバチ				CR+EN
		フタモンクモバチ			NT	VU
		アオスジクモバチ			DD	
	ドロバチモドキ科	ヤマトスナハキバチ本土亜種			DD	
		ニッポンハナダカバチ			VU	VU
		キアシハナダカバチモドキ			VU	CR+EN
	ミツバチ科	クロマルハナバチ			NT	EX
		ナミルリモンハナバチ			DD	
	ハキリバチ科	クズハキリバチ			DD	
		キバラハキリバチ			NT	
8 目	92 科	286 種	0 種	3 種	76 種	270 種

注) 重要種の選定基準は、表 3. 2-71 を参照。

(6) 魚類

実施区域及び周辺地域の魚類相は、表 3.2-79 に示すとおりである。9 目 15 科 40 種の魚類が確認されており、このうち重要種に該当する種は 16 種である。

表 3.2-79 既存資料により確認された魚類

目名	科名	種名	選定基準			
			①	②	③	④
レピソステウス目	レピソステウス科	アリゲーターガー				
ウナギ目	ウナギ科	ニホンウナギ			EN	
コイ目	コイ科	コイ（型不明）				
		ゲンゴロウブナ				
		キンギョ				
		キンブナ			VU	EN
		フナ類				
		ギンブナ				
		オイカワ				
		ソウギョ				
		アオウオ				
		アブラハヤ				NT
		マルタ				VU
		ウグイ				NT
		モツゴ				
		タモロコ				
		アカヒレ				
	ドジョウ科	ドジョウ			NT	
	フクドジョウ科	ホトケドジョウ			EN	EN
ナマズ目	ナマズ科	ナマズ				注目
サケ目	アユ科	アユ				
	サケ科	サクラマス（ヤマメ）			NT	CR
ボラ目	ボラ科	ボラ				
カダヤシ目	カダヤシ科	カダヤシ				
		グッピー				
ダツ目	メダカ科	ミナミメダカ			VU	CR
スズキ目	スズキ科	スズキ				
	サンフィッシュ科	ブルーギル				
		オオクチバス				
	ハゼ科	ボウズハゼ				NT
		ヌマチチブ				
		チチブ				
		シマヨシノボリ				
		ルリヨシノボリ				NT
		オオヨシノボリ				NT
		クロヨシノボリ				NT
		ゴクラクハゼ				NT
		トウヨシノボリ類				
		スミウキゴリ				NT
		ウキゴリ				
	タイワンドジョウ科	カムルチー				
9 目	15 科	40 種	0 種	0 種	6 種	14 種
			16 種			

注 1) 重要種の選定基準は、表 3.2-71 を参照。

注 2) ゲンゴロウブナは選定基準③の重要種に該当するが、県内では国内移入種であるため重要種から除外した。国内移入種の定義は以下のとおり。

- ・国内には分布するが、調査地域には自然分布しない種

(7) 底生生物

実施区域及び周辺地域の底生生物相は表 3.2-80 に、重要種は表 3.2-81 に示すとおりである。9 綱 23 目 76 科 177 種の種が確認されており、このうち重要種に該当する種は 47 種である。

なお、既存資料により確認された底生生物（全種）は、資料編に示した。

表 3.2-80 既存資料により確認された底生生物

綱名	目名	科数	種数
有棒状体綱	三岐腸目	1 科	2 種
	テムノケファーラ目	1 科	1 種
腹足綱	新生腹足目	4 科	6 種
	汎有肺目	3 科	6 種
二枚貝綱	イシガイ目	1 科	1 種
	マルスダレガイ目	2 科	3 種
ミミズ綱	オヨギミミズ目	1 科	1 種
	イトミミズ目	2 科	3 種
	厚環帯目	1 科	1 種
ヒル綱	吻無蛭目	1 科	2 種
クモ綱（蛛形綱）	ダニ目	1 科	1 種
軟甲綱	ヨコエビ目	2 科	2 種
	ワラジムシ目	2 科	2 種
	エビ目	5 科	12 種
昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	8 科	16 種
	トンボ目（蜻蛉目）	7 科	27 種
	カワゲラ目（セキ翅目）	1 科	2 種
	カメムシ目（半翅目）	5 科	13 種
	ヘビトンボ目	1 科	2 種
	トビケラ目（毛翅目）	7 科	9 種
	ハエ目（双翅目）	10 科	36 種
	コウチュウ目（鞘翅目）	9 科	28 種
	ハネコケムシ目	1 科	1 種
被喉綱	ハネコケムシ目	1 科	1 種
合計：9 綱 23 目 76 科 177 種			

表 3. 2-81 既存資料により確認された底生生物の重要種

目名	科名	種名	選定基準			
			①	②	③	④
新生腹足目	タニシ科	マルタニシ			VU	
		オオタニシ			NT	
	エゾマメタニシ科	マメタニシ			CR	
汎有肺目	モノアラガイ科	コシダカヒメモノアラガイ			DD	
		モノアラガイ			NT	
	ヒラマキガイ科	カワコザラガイ			CR	
		ヒラマキガイモドキ			NT	
トンボ目 (蜻蛉目)	イトトンボ科	キイトトンボ				EN
	カワトンボ科	ハグロトンボ				要注意
		ニホンカワトンボ				NT
	ヤンマ科	ネアカヨシヤンマ			NT	CR
		コシボソヤンマ				要注意
		カトリヤンマ				NT
		ミルンヤンマ				要注意
		サラサヤンマ				EN
	サナエトンボ科	ヤマサナエ				要注意
		ホンサナエ				VU
		コサナエ				EN
	エゾトンボ科	コヤマトンボ				NT
	トンボ科	コフキトンボ				要注意
カメムシ目 (半翅目)	アメンボ科	オオアメンボ				NT
		ババアメンボ			NT	EN
		ハネナシアメンボ				CR
	ミズムシ科 (昆)	ミヤケミズムシ			NT	CR
	コオイムシ科	コオイムシ			NT	EN
ハエ目 (双翅目)	ヒメガガンボ科	ヒトエグサガガンボ				DD
	アブ科	ウシアブ				DD
コウチュウ目 (鞘翅目)	ゲンゴロウ科	クロズマメゲンゴロウ				VU
		キボシケシゲンゴロウ			DD	EN
		クロゲンゴロウ			NT	CR
		マルガタゲンゴロウ		特二	VU	CR
		ウスイロシマゲンゴロウ				DD
		ケシゲンゴロウ			NT	CR
		ヒメケシゲンゴロウ			VU	EX
		ツブゲンゴロウ				EX
		ルイスツブゲンゴロウ			VU	EX
	ミズスマシ科	オオミズスマシ			NT	CR
		コミズスマシ			EN	VU
		ミズスマシ			VU	NT
	コガシラミズムシ科	キイロコガシラミズムシ			VU	EX
		カミヤコガシラミズムシ			EN	EX
		マダラコガシラミズムシ			VU	DD
	コツブゲンゴロウ科	コツブゲンゴロウ				VU
	ダルマガムシ科	クロコブセスジダルマガムシ				NT
	ガムシ科	タマガムシ				EN
		ルイスヒラタガムシ				DD
	ホタル科	ヘイケボタル				NT
6 目	22 科	47 種	0 種	1 種	23 種	40 種

注) 重要種の選定基準は、表 3. 2-71 を参照。

第3章 その他の状況

第1節 文化財

1. 指定文化財

実施区域及び周辺地域の指定文化財は、表 3.2-82(1)～(3)及び図 3.2-26 に示すとおりである。実施区域に最も近い文化財は、葉山町指定の天然記念物「木古庭滝不動尊常緑樹林及び境内樹林」である。

表 3.2-82(1) 指定文化財

No.	名称	指定	種別	所在地
1	木造 阿弥陀如来及び両脇侍像 (運慶作)	国	有形文化財(彫刻)	横須賀市芦名 2 丁目 30-5
	木造 不動明王・毘沙門天立像 (運慶作)	国	有形文化財(彫刻)	横須賀市芦名 2 丁目 30-5
	紙本著色板貼付釈迦三尊図附 蓮池図板戸	横須賀市	有形文化財(絵画)	横須賀市芦名 2 丁目 30-5
2	スチームハンマー	国	有形文化財(歴史資料)	横須賀市東逸見町 1 丁目 1
	J R 横須賀駅	横須賀市	有形文化財(建造物)	横須賀市東逸見町 1 丁目 1
3	三浦安針墓	国	記念物(史跡)	横須賀市西逸見町 3 丁目 57
4	横須賀市上下水道局逸見浄水場 緩速ろ過池調整室Ⅰ	国	有形文化財(建造物)	横須賀市西逸見町 2 丁目 10
	横須賀市上下水道局逸見浄水場 緩速ろ過池調整室Ⅱ	国	有形文化財(建造物)	横須賀市西逸見町 2 丁目 10
	横須賀市上下水道局逸見浄水場 緩速ろ過池調整室Ⅲ	国	有形文化財(建造物)	横須賀市西逸見町 2 丁目 10
	横須賀市上下水道局逸見浄水場 緩速ろ過池調整室Ⅳ	国	有形文化財(建造物)	横須賀市西逸見町 2 丁目 10
	横須賀市上下水道局逸見浄水場 配水池東入口	国	有形文化財(建造物)	横須賀市西逸見町 2 丁目 10
	横須賀市上下水道局逸見浄水場 配水池西入口	国	有形文化財(建造物)	横須賀市西逸見町 2 丁目 10
	横須賀市上下水道局逸見浄水場 ベンチュリーメーター室	国	有形文化財(建造物)	横須賀市西逸見町 2 丁目 10
5	高橋家住宅	国	有形文化財(建造物)	横須賀市本町 2 丁目
6	西崎家住宅 (船越町洋館付き住宅) 主屋	国	有形文化財(建造物)	横須賀市船越町 3 丁目
7	長柄桜山古墳群	国	記念物(史跡)	葉山町長柄 691-5
8	イエズス孝女会修道院旧館 (旧東伏見宮葉山別邸)	国	有形文化財(建造物)	葉山町堀内 1968
9	旧加地邸	国	有形文化財(建造物)	葉山町一色 1706
10	旧足立家別邸主屋	国	有形文化財(建造物)	葉山町堀内 2019
11	旧平野家住宅主屋	国	有形文化財(建造物)	葉山町堀内字牛ヶ谷 1834
12	天神島、笠島及び周辺水域	県	記念物 (天然記念物及び名勝)	横須賀市佐島 3 丁目 1457-1～3、 1458、1457-1 先、公有海面
13	はまおもと	県	記念物(天然記念物)	横須賀市佐島 3 丁目 1457
14	三島社の社叢林	県	記念物(天然記念物)	横須賀市武 1 丁目 2749-1 他
15	銅鐘(応永十年銘)	県	有形文化財(工芸)	逗子市沼間 2 丁目 12-15
	四脚門	横須賀市	有形文化財(建造物)	逗子市沼間 2 丁目 12-15
	木造 十一面観音菩薩坐像	横須賀市	有形文化財(彫刻)	逗子市沼間 2 丁目 12-15

注) 表中の番号は、図 3.2-26 に対応する。

資料: 「指定文化財一覧」(横須賀市 HP、令和 7 年 7 月閲覧)

「逗子市内所在の重要文化財指定物件」(逗子市 HP、令和 7 年 7 月閲覧)

「指定・登録文化財」(葉山町 HP、令和 7 年 7 月閲覧)

表 3. 2-82(2) 指定文化財

No.	名称	指定	種別	所在地
16	木造 阿弥陀如来立像	県	有形文化財(彫刻)	逗子市沼間 2 丁目 20-17
17	五霊神社の大イチョウとその周辺の樹木	県	記念物(天然記念物)	逗子市沼間 3 丁目 10-34
18	新善光寺四脚門	県	有形文化財(建造物)	葉山町上山口 1368
	新善光寺本堂 附) 厨子 1 基	県	有形文化財(建造物)	葉山町上山口 1368
	室内庚申塔	葉山町	有形文化財(彫刻)	葉山町上山口 1368
	阿弥陀三尊立像	葉山町	有形文化財(彫刻)	葉山町上山口 1368
	新善光寺常緑樹林	葉山町	記念物(天然記念物)	葉山町上山口 1368
19	盛福寺山門	横須賀市	有形文化財(建造物)	横須賀市田浦町 5 丁目 51
20	木造 地藏菩薩半跏像	横須賀市	有形文化財(彫刻)	横須賀市武 2 丁目 12-13
21	木造 三宝本尊像	横須賀市	有形文化財(彫刻)	横須賀市衣笠栄町 3-77
	木造 石渡則次夫妻坐像	横須賀市	有形文化財(彫刻)	横須賀市衣笠栄町 3-77
	木造 伝日栄上人坐像	横須賀市	有形文化財(彫刻)	横須賀市衣笠栄町 3-77
	木造 伝日静上人坐像	横須賀市	有形文化財(彫刻)	横須賀市衣笠栄町 3-77
22	木造 阿弥陀三尊像	横須賀市	有形文化財(彫刻)	横須賀市衣笠町 29-1
	木造 伝毘沙門天立像	横須賀市	有形文化財(彫刻)	横須賀市衣笠町 29-1
23	木造 十一面観音菩薩坐像	横須賀市	有形文化財(彫刻)	横須賀市佐島 1 丁目 530
24	木造 日蓮上人坐像	横須賀市	有形文化財(彫刻)	横須賀市太田和 1 丁目 12 - 1
25	木造 日蓮上人坐像	横須賀市	有形文化財(彫刻)	横須賀市長坂 4 丁目 18-7
26	木造 聖観音菩薩坐像	横須賀市	有形文化財(彫刻)	横須賀市長坂 4 丁目 21-18
27	銅造観音菩薩立像	横須賀市	有形文化財(彫刻)	横須賀市西逸見町 1 丁目 11
28	梵鐘	横須賀市	有形文化財(工芸品)	横須賀市不入斗町 3 丁目 38-3
29	衣笠城跡	横須賀市	記念物(史跡)	横須賀市衣笠町 1161 他
30	一騎塚	横須賀市	記念物民俗有形(史跡及び有形民俗)	一騎塚
31	三浦枕状溶岩	横須賀市	記念物(天然記念物)	横須賀市平作 6 丁目(衣笠-田浦線高架下)
32	安針塚への道標駅	横須賀市	有形文化財(建造物)	横須賀市西逸見町 3 丁目 80、西逸見町 1 丁目 36、東逸見町 1 丁目 1
33	逸見波止場衛門	横須賀市	有形文化財(建造物)	横須賀市汐入町 1 丁目 1
34	旧横須賀重砲兵連隊営門	横須賀市	有形文化財(建造物)	横須賀市坂本町 1 丁目 19
35	若命家長屋門	横須賀市	有形文化財(建造物)	横須賀市秋谷 2 丁目 14-11
36	立石	横須賀市	記念物(名勝)	横須賀市秋谷 3 丁目 5
37	子産石	横須賀市	民俗文化財(有形)	横須賀市秋谷 5290
38	銅造 阿弥陀三尊像	横須賀市	有形文化財(彫刻)	逗子市逗子 3 丁目 1-17
	絹本着色 仏涅槃図	横須賀市	有形文化財(絵画)	逗子市逗子 3 丁目 1-17
39	木造 十王及び奪衣婆坐像	横須賀市	有形文化財(彫刻)	逗子市桜山 7 丁目 7-1
40	先祖やぐら横穴	横須賀市	記念物(史跡)	逗子市沼間 2 丁目 23-24
41	石造五輪塔 (猪俣・岡部両将の墓)	葉山町	有形文化財(建造物)	葉山町上山口 407
42	石造五輪塔(平兼盛墓)	葉山町	有形文化財(建造物)	葉山町下山口 595
43	一色前田の庚申塔	葉山町	有形文化財(建造物)	葉山町一色 1028-2
44	栗坪の庚申塔	葉山町	有形文化財(建造物)	葉山町上山口 469

注) 表中の番号は、図 3. 2-26 に対応する。

資料: 「指定文化財一覧」(横須賀市 HP、令和 7 年 7 月閲覧)

「逗子市内所在の重要文化財指定物件」(逗子市 HP、令和 7 年 7 月閲覧)

「指定・登録文化財」(葉山町 HP、令和 7 年 7 月閲覧)

表 3. 2-82(3) 指定文化財

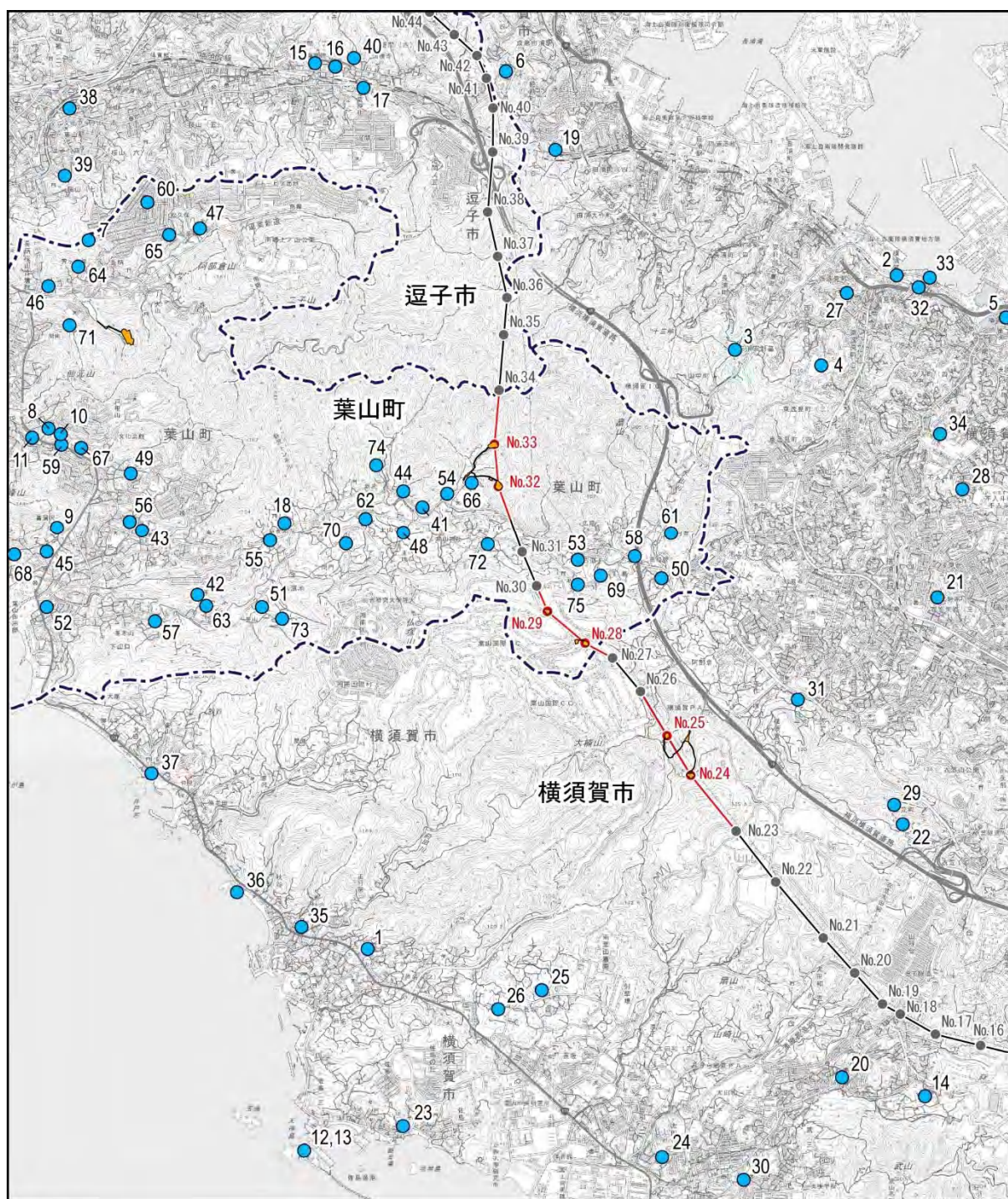
No.	名称	指定	種別	所在地
45	玉蔵院の庚申塔 (A)	葉山町	有形文化財(建造物)	葉山町一色 2152
	玉蔵院の庚申塔 (B)	葉山町	有形文化財(建造物)	葉山町一色 2152
	木造大日如来坐像	葉山町	有形文化財(彫刻)	葉山町一色 2152
	木造不動明王立像	葉山町	有形文化財(彫刻)	葉山町一色 2152
	木造虚空蔵菩薩坐像	葉山町	有形文化財(彫刻)	葉山町一色 2152
	玉蔵院のエノキ・イチヨウ	葉山町	記念物(天然記念物)	葉山町一色 2152
46	笠原商店前の庚申塔	葉山町	有形文化財(建造物)	葉山町長柄 482
47	長柄上の庚申塔	葉山町	有形文化財(建造物)	葉山町長柄 1536
48	正吟の庚申塔	葉山町	有形文化財(建造物)	葉山町上山口 2356
49	実教寺の庚申塔	葉山町	有形文化財(建造物)	葉山町一色 1355
	「古将の墓」並びに「副葬品」	葉山町	記念物(史跡)	葉山町一色 1355
50	高祖坂の庚申塔	葉山町	有形文化財(建造物)	葉山町木古庭 1514
51	星山の庚申塔	葉山町	有形文化財(建造物)	葉山町下山口 160
52	神明社の庚申塔	葉山町	有形文化財(建造物)	葉山町下山口 1505
53	大沢の庚申塔	葉山町	有形文化財(建造物)	葉山町木古庭 761
54	寺前の庚申塔	葉山町	有形文化財(建造物)	葉山町上山口 156-6
55	唐木作の庚申塔	葉山町	有形文化財(建造物)	葉山町上山口 139
56	夜泣石脇の庚申塔	葉山町	有形文化財(建造物)	葉山町一色 1193
57	茅木山の庚申塔	葉山町	有形文化財(建造物)	葉山町下山口 991-1
58	木古庭馬頭観音菩薩座像(道標)	葉山町	有形文化財(建造物)	葉山町木古庭 604
59	堀内牛ヶ谷地藏菩薩塔(道標)	葉山町	有形文化財(建造物)	葉山町堀内 1808
60	長柄馬頭観音塔(道標)	葉山町	有形文化財(建造物)	葉山町長柄 1461-154
61	木造大黒天	葉山町	有形文化財(彫刻)	葉山町木古庭 1662
	古絵図	葉山町	有形文化財(古文書)	葉山町木古庭 1662
62	木造十一面観音菩薩立像	葉山町	有形文化財(彫刻)	葉山町上山口 2165
63	室内庚申塔	葉山町	有形文化財(彫刻)	葉山町下山口 387
64	木造不動明王及び二童子像	葉山町	有形文化財(彫刻)	葉山町長柄 615
	地藏十王図	葉山町	有形文化財(絵画)	葉山町長柄 615
65	地藏菩薩立像	葉山町	有形文化財(彫刻)	葉山町長柄 1439
66	阿弥陀三尊立像	葉山町	有形文化財(彫刻)	葉山町上山口 93(西光寺)
	地藏菩薩立像	葉山町	有形文化財(彫刻)	葉山町上山口 93(西光寺)
67	葉山小学校の青い目の人形メリー	葉山町	有形文化財(歴史資料)	葉山町堀内 2050-1
68	大正天皇崩御・昭和天皇 皇位継承の地	葉山町	記念物(史跡)	葉山町一色 2123-1
69	木古庭永嶋家のカヤノキ	葉山町	記念物(天然記念物)	葉山町木古庭 1301
70	シダレザクラ	葉山町	記念物(天然記念物)	葉山町上山口 1870
71	十二天のビャクシン	葉山町	記念物(天然記念物)	葉山町長柄
72	永津家のカヤノキ	葉山町	記念物(天然記念物)	葉山町上山口 3208
73	ウメの巨木	葉山町	記念物(天然記念物)	葉山町下山口 78
74	モミジ	葉山町	記念物(天然記念物)	葉山町上山口 768
75	木古庭滝不動尊常緑樹林及び 境内樹林	葉山町	記念物(天然記念物)	葉山町木古庭 925

注) 表中の番号は、図 3. 2-26 に対応する。

資料: 「指定文化財一覧」(横須賀市 HP、令和 7 年 7 月閲覧)

「逗子市内所在の重要文化財指定物件」(逗子市 HP、令和 7 年 7 月閲覧)

「指定・登録文化財」(葉山町 HP、令和 7 年 7 月閲覧)



凡 例

- 実施区域の送電線及び鉄塔
- 実施区域外の送電線及び鉄塔
- 市町村界
- 実施区域の工事用地
- 指定文化財(1～75)

注) 図中の番号は、表 3.2-82 に対応する。

資料: 「指定文化財一覧」(横須賀市 HP、令和 7 年 7 月閲覧)

「逗子市内所在の重要文化財指定物件」(逗子市 HP、令和 7 年 7 月閲覧)

「指定・登録文化財」(葉山町 HP、令和 7 年 7 月閲覧)



1:50,000

0 0.5 1 1.5 2 km

図 3.2-26 指定文化財

2. 埋蔵文化財

実施区域及び周辺地域の周知の埋蔵文化財包蔵地は、表 3.2-83(1)～(5)及び図 3.2-27 に示すとおりである。240 箇所の周知の埋蔵文化財包蔵地が確認されており、このうちNo.H-1「馬の背山遺跡」(葉山町木古庭字大沢)は実施区域の鉄塔に隣接している。

なお、表中の番号は各市町にて付番された遺跡番号の重複をさけるため、横須賀市には「Y」、逗子市には「Z」、葉山町には「H」を付した。

表 3.2-83(1) 周知の埋蔵文化財包蔵地

No.	名 称	種 別	所在地	時 代
Y-2	貉遺跡	散布地	横須賀市船越町 7	縄文
Y-5	榎台遺跡	散布地	横須賀市長浦町 2、吉倉町 1	縄文
Y-39	ラッパ山遺跡	散布地	横須賀市不入斗 1 丁目	旧石器、縄文(早、中)、弥生(後)
Y-40	国立病院裏遺跡	散布地	横須賀市不入斗 4-25	縄文(中)
Y-41	大六天社裏遺跡	散布地	横須賀市坂本町 2-27	縄文(中)
Y-42	西来寺遺跡	散布地	横須賀市不入斗町 3-31	縄文(早、中)、弥生、古墳、奈良、平安
Y-43	坂本横穴	横穴墓	横須賀市坂本町 2-13	古墳(後)
Y-44	枇杷山遺跡	散布地	横須賀市汐見台 1-35	弥生(後)
Y-45	小矢部窯跡	土師器窯跡	横須賀市小矢部 2	平安
Y-53	衣笠城跡遺跡	散布地	衣笠町 1161	縄文(早)、弥生、平安
Y-54	大平遺跡	散布地	横須賀市長坂 3 丁目	縄文(早)、弥生、中世
Y-56	芝下遺跡	集落跡・散布地	横須賀市荻野 230、長坂 777	縄文(早、前、後)、弥生(後)、古墳
Y-57	松越遺跡	散布地	横須賀市佐島 1	縄文
Y-63	子産石遺跡	散布地		弥生(後期)、古墳(前期)
Y-68	萩ノ台C遺跡	散布地	横須賀市佐島 3	縄文、奈良、平安
Y-69	佐島横穴・佐島やぐら群	横穴・やぐら	横須賀市佐島 3	古墳・中世
Y-70	乗越遺跡	瓦窯跡、横穴墓	横須賀市秋谷 1	古墳、奈良
Y-78	杉本遺跡	散布地	横須賀市秋谷 3143	縄文(早)、弥生(後)
Y-79	けえね台遺跡	散布地	横須賀市望洋台 26	弥生(後)
Y-80	大明寺裏遺跡	散布地	汐見台 1-9、衣笠栄町 3-78	縄文(早)、弥生(後)、奈良、平安
Y-83	坂の台経塚後	経塚	衣笠 1161-1	平安
Y-88	西谷戸やぐら	やぐら	横須賀市佐島 3	中世
Y-89	衣笠城跡	城館跡	横須賀市衣笠町 1161	平安、中世
Y-94	芦名城跡	城館跡	横須賀市芦名 1	中世
Y-101	大山田遺跡	散布地	横須賀市田浦町 4-87	奈良、平安
Y-108	アラク遺跡	散布地	横須賀市田浦大作町 25、田浦泉町 66	縄文(前、中)、古墳
Y-110	十三峠遺跡	散布地	横須賀市山中町 132	縄文(前)、奈良、平安
Y-111	田の浦浜やぐら群	やぐら	横須賀市長浦町 1	中世
Y-112	安針塚遺跡	散布地	横須賀市西逸見町 3-54	縄文(前)、中世
Y-118	堂山遺跡	散布地	横須賀市池上 5-4498	旧石器、縄文(早、前)、古墳
Y-119	平作城跡	城館跡	横須賀市阿部倉町 1221	中世
Y-121	石井遺跡	集落跡、散布地	横須賀市平作 2 丁目	縄文(中)、古墳(前)、奈良、中世
Y-122	大畑遺跡	散布地	横須賀市衣笠町	奈良、平安
Y-123	善応寺遺跡	散布地	横須賀市太田和 5-280	中世
Y-124	前田遺跡	集落跡	横須賀市秋谷 1、芦名 1	縄文(早)、奈良、平安
Y-150	西ノ浦谷北遺跡	散布地	横須賀市長浦町 5	奈良、平安
Y-158	峰の畑遺跡	散布地	横須賀市武 3-3505	縄文、中世
Y-194	秋谷城山遺跡	散布地	横須賀市秋谷 1	縄文(早)、弥生、平安

資料：「よこすかわが街ガイドオープンデータ」(横須賀市 HP、令和 7 年 7 月閲覧)

「埋蔵文化財」(逗子市 HP、令和 7 年 7 月閲覧)

「葉山町内埋蔵文化財包蔵地一覧」(葉山町 HP、令和 7 年 7 月閲覧)

表 3. 2-83(2) 周知の埋蔵文化財包蔵地

No.	名 称	種 別	所在地	時 代
Y-195	御館遺跡	散布地	横須賀市芦名 1	奈良、平安
Y-196	滝遺跡	散布地	横須賀市芦名 2	弥生、奈良、平安
Y-199	亀割やぐら	やぐら	横須賀市衣笠町	中世
Y-200	坂口やぐら	やぐら	横須賀市衣笠町 708	中世
Y-203	住吉遺跡	集落跡	横須賀市衣笠町 74	縄文(早)、弥生(後)、平安、中世
Y-217	西ノ浦谷南遺跡	集落跡	横須賀市長浦町 5	縄文、奈良、平安
Y-218	浜遺跡	貝塚・祭祀	横須賀市芦名 1	弥生、奈良、平安、中世
Y-219	染谷北遺跡	散布地	横須賀市芦名 1	弥生
Y-220	染谷遺跡	散布地	横須賀市芦名 1	奈良、平安
Y-221	萩ノ台A遺跡	散布地	横須賀市佐島 3	縄文、弥生、奈良、平安
Y-222	水尻遺跡	散布地	横須賀市佐島 3	縄文、奈良、平安
Y-223	萩ノ台D遺跡	散布地	横須賀市佐島 3	縄文、奈良、平安
Y-224	御浦崎横穴群	横穴墓	横須賀市佐島 3	古墳
Y-225	熊野神社やぐら	横穴墓	横須賀市佐島 2	古墳、中世
Y-226	芦名 1 丁目無名塚	塚	横須賀市芦名 1	
Y-227	唐池遺跡	散布地、集落跡	横須賀市芦名 1 丁目、佐島の丘 1 丁目	旧石器、縄文、弥生、古墳、奈良、平安
Y-228	一本松遺跡	集落跡、散布地	横須賀市佐島の丘 1 丁目 786-2、2 丁目 1010-1 ほか	旧石器、縄文、奈良、平安、中世
Y-230	高原遺跡	集落跡	横須賀市佐島の丘 1 丁目	縄文、弥生、奈良、平安
Y-231	上ノ山A遺跡	散布地、集落跡	横須賀市佐島の丘 2	縄文、弥生、奈良、平安、中世
Y-232	観音山やぐら	やぐら	佐島 1	中世
Y-233	観音山横穴群	横穴墓	佐島 1 丁目	古墳
Y-234	浜横穴	横穴墓	佐島 2	古墳
Y-235	深田遺跡	集落跡	横須賀市佐島 1 丁目、佐島の丘 1 丁目	縄文～中世
Y-236	長坂やぐら群	やぐら	横須賀市佐島 3	中世、南北朝～室町時代末期
Y-237	松越北遺跡	散布地	横須賀市佐島 1	縄文、奈良、平安
Y-238	松越南遺跡	散布地	横須賀市佐島 1	奈良、平安
Y-239	日谷枝横穴群	横穴墓	横須賀市佐島 354	古墳
Y-240	林三叉路遺跡	散布地	横須賀市太田和 1-1603	奈良、平安
Y-241	溝尾遺跡	集落跡	横須賀市太田和 1-1517	縄文(早・前)、弥生(後)、古墳(前)、中世
Y-242	太田和城跡	城館跡	横須賀市太田和	中世
Y-264	田の浦遺跡		横須賀市長浦町 5	縄文
Y-265	長善寺やぐら群	やぐら	横須賀市田浦町 2	中世
Y-270	台ノ田遺跡	散布地	横須賀市田浦泉町、長浦町 3・4	縄文、弥生、古墳
Y-271	山中遺跡	散布地	横須賀市山中町 11	古墳
Y-273	本住坊跡	寺院跡・墳墓	横須賀市阿部倉町	中世～近世
Y-276	不入斗横穴群	横穴墓	横須賀市不入斗町 4 丁目	古墳(後)
Y-278	妙蔵寺遺跡	墳墓、墓地	横須賀市池上 4-4495	中世
Y-279	横須賀市No.279	散布地	横須賀市池上 4 丁目	中世
Y-280	御嶽神社裏遺跡	散布地	横須賀市佐野町 3 丁目	縄文(中)、弥生(後)
Y-282	舞台遺跡	散布地	横須賀市衣笠栄町 2-56	旧石器
Y-285	坂本中学校遺跡	散布地	横須賀市坂本町 1-19	縄文(早、中)
Y-289	横須賀市No.289	散布地	横須賀市衣笠栄町 4 丁目	古墳
Y-290	大明寺遺跡	散布地	横須賀市衣笠栄町 3-77	奈良、平安
Y-291	横須賀市No.291	散布地	横須賀市汐見台 3-32	
Y-308	久留和遺跡	散布地	横須賀市秋谷 4407	奈良、平安
Y-310	阿部倉清水遺跡	散布地	横須賀市阿部倉町 156	縄文
Y-310	阿部倉清水遺跡	散布地	横須賀市阿部倉町 156	縄文
Y-311	陣ヶ原遺跡	散布地	横須賀市平作 3-1992	奈良、平安

資料：「よこすかわが街ガイドオープンデータ」(横須賀市 HP、令和 7 年 7 月閲覧)

「埋蔵文化財」(逗子市 HP、令和 7 年 7 月閲覧)

「葉山町内埋蔵文化財包蔵地一覧」(葉山町 HP、令和 7 年 7 月閲覧)

表 3. 2-83(3) 周知の埋蔵文化財包蔵地

No.	名 称	種 別	所在地	時 代
Y-312	伝馬場遺跡	散布地	横須賀市平作 7 丁目	平安
Y-313	駿河坂遺跡	散布地	横須賀市平作 3-1995, 4	奈良、平安
Y-314	竹林供養塚	祭祀跡	横須賀市平作 1-3402	—
Y-315	半縄遺跡	散布地	横須賀市小矢部 2 丁目	奈良、平安
Y-340	淡島神社遺跡	散布地	横須賀市芦名 6	中世
Y-341	淡島神社やぐら群	やぐら	芦名 10	中世
Y-342	十二所神社遺跡	集落跡	横須賀市芦名 46	中世
Y-343	中尾遺跡	散布地	横須賀市大矢部 5	中世
Y-347	西福院跡	寺院跡	横須賀市武 2	中世、近世
Y-363	萩ノ台 B 遺跡	散布地	横須賀市佐島 1314	縄文(早)、奈良、平安、中世
Y-364	福本寺西遺跡	散布地	横須賀市佐島 705	奈良、平安
Y-365	芝遺跡	墳墓	横須賀市佐島 604	中世
Y-366	上ノ山 B 遺跡	散布地	横須賀市佐島 1020	奈良、平安
Y-367	日谷枝遺跡	散布地	横須賀市佐島 360	奈良、平安
Y-368	岩崎山遺跡	散布地	横須賀市御幸浜	縄文(早)
Y-369	鎮守面遺跡	散布地	横須賀市佐島 210	弥生、奈良、平安
Y-380	溝尾やぐら	やぐら	横須賀市太田和 1-14	中世
Y-391	黒岩鼻洞穴	海蝕洞穴	横須賀市箱崎町	縄文、古墳
Y-398	旧国立病院裏横穴	横穴墓	不入斗町 4	古墳(後)、中世
Y-400	御嶽神社遺跡	散布地	横須賀市不入斗町 3-4	古墳(前)
Y-403	郷山遺跡	城館跡	横須賀市平作 2-30	中世
Y-406	福泉寺遺跡	散布地	横須賀市平作 7-2959	奈良、平安
Y-407	峯海道遺跡	やぐら	横須賀市長坂 3-38	中世
Y-409	城ヶ峰遺跡	散布地	横須賀市古矢部 4 丁目ほか	縄文(中)、弥生、中世
Y-411	淡島神社西遺跡	横穴墓・やぐら	秋谷、芦名	古墳(後)、中世、近世
Y-413	深田横穴	横穴墓	横須賀市佐島 1001	古墳～奈良
Y-414	手取遺跡	塚・散布地	横須賀市太田和 4-2216	中世
Y-420	田浦砲台山遺跡	散布地	横須賀市田浦町 4	縄文(早)
Y-422	西逸見 1 丁目やぐら	やぐら	横須賀市西逸見町 1	
Y-429	海老田遺跡	散布地	横須賀市秋谷 2	古墳、奈良、平安
Y-432	秋谷無名塚 B	塚	横須賀市秋谷	
Y-433	日谷枝北遺跡	散布地	横須賀市佐島 1 丁目	奈良、平安
Y-434	日谷枝南遺跡	散布地	横須賀市佐島	奈良、平安
Y-437	名立遺跡	散布地	横須賀市衣笠町	縄文(前)
Y-438	深山遺跡	散布地	横須賀市衣笠町	縄文
Y-439	日陰山遺跡	散布地	長坂町	
Y-440	大光寺遺跡	散布地	横須賀市平作 1-26	縄文(中)
Y-441	栄地谷遺跡		横須賀市平作 5 丁目	奈良、平安
Y-442	衣笠神社北遺跡	散布地	横須賀市小矢部 4	奈良、平安
Y-443	尾崎山経塚	経塚	衣笠町	中世～近世
Y-444	旗立岩やぐら	やぐら	横須賀市衣笠町 760	中世
Y-445	童子谷遺跡	散布地	横須賀市大矢部 1 丁目	奈良、平安
Y-446	姓名塚	塚	衣笠町字畑中	中世
Y-447	慈願寺やぐら	やぐら	横須賀市衣笠町字畑中	中世
Y-455	唐池西遺跡	包含地	横須賀市佐島	奈良、平安、中世
Y-456	高原北遺跡	集落跡	横須賀市佐島	旧石器、縄文、弥生、古墳、奈良
Y-460	長坂宮ノ前やぐら群	やぐら	横須賀市長坂 3	中世
Y-472	猪湾横穴墓群	横穴墓、やぐら	横須賀市浦郷 1	古墳、中世
Y-474	大楠中学校内横穴墓	横穴墓	横須賀市芦名 1	古墳
Z-3	山野根横穴群 I 群	横穴墓	逗子市山の根 1 丁目	古墳(末)
Z-4	山野根横穴群 II 群	横穴墓	逗子市山の根 2 丁目	古墳(末)
Z-5	山野根横穴群 III 群	横穴墓	逗子市山の根 2 丁目	古墳(末)

資料：「よこすかわが街ガイドオープンデータ」(横須賀市 HP、令和 7 年 7 月閲覧)

「埋蔵文化財」(逗子市 HP、令和 7 年 7 月閲覧)

「葉山町内埋蔵文化財包蔵地一覧」(葉山町 HP、令和 7 年 7 月閲覧)

表 3. 2-83(4) 周知の埋蔵文化財包蔵地

No.	名 称	種 別	所在地	時 代
Z-6	山野根横穴群 IV群	横穴墓	逗子市山の根 2 丁目	古墳 (末)
Z-7	山野根横穴群 V群	横穴墓	逗子市山の根 3 丁目	古墳 (末)
Z-8	山野根横穴群 VI群	横穴墓	逗子市山の根 3 丁目	古墳 (末)
Z-11	沼間堀内横穴 (先祖やぐら)	横穴墓、やぐら	逗子市沼間 2 丁目	古墳・中世
Z-18	持田遺跡	集落跡	逗子市桜山 5 丁目	弥生・古墳・奈良(土師 (古・新))
Z-22		遺物散布地	逗子市桜山 8 丁目	縄文(中期)・弥生(後期)
Z-23	亀ヶ岡八幡宮周辺 遺跡	遺物散布地	逗子市逗子 5 丁目	古墳
Z-24		遺物散布地	逗子市山の根 2 丁目	古墳
Z-25	才戸池西側遺跡	遺物散布地	逗子市桜山 6 丁目	縄文
Z-26	才戸谷遺跡	遺物散布地	逗子市桜山 5 丁目	古墳 (前期)
Z-27	内藤屋敷跡	遺物散布地	逗子市桜山 5 丁目	弥生(後期)・古墳(前期) (土師(古))
Z-29	地蔵山矢部邸内塚	塚	逗子市桜山 5 丁目	中世
Z-30	番谷谷遺跡	遺物散布地	逗子市桜山 5 丁目	古墳 (前期)
Z-31	台山稻荷下遺跡	遺物散布地	逗子市沼間 1 丁目	縄文・弥生・奈良・平安
Z-32		遺物散布地	逗子市沼間 1 丁目	古墳
Z-33	沼間台遺跡	遺物散布地 (集落 跡)	逗子市沼間 1 丁目	弥生(中期・後期)・古墳 ・奈良(土師(古・新))
Z-34	沼間南台遺跡	遺物散布地	逗子市沼間 1 丁目	弥生
Z-35	沼間台山遺跡	遺物散布地	沼間 1 丁目	縄文
Z-36	五霊神社南台地遺 跡	遺物散布地	逗子市沼間 3 丁目	古墳 (前期)・奈良・平安 ・中世 (鎌倉末期から室町)
Z-37	沼間ポンプ場裏台 地遺跡	遺物散布地	逗子市沼間 3 丁目	縄文(早期)・古墳(前期) ・平安(中・後期)
Z-38	小池入・木之間入 遺跡	遺物散布地	逗子市沼間 5 丁目	縄文 (早期)
Z-44	池子 2 丁目遺跡	遺物散布地	逗子市池子 2 丁目	弥生 (後期)・古墳 (前期)
Z-45	山野根熊野神社横 穴群	横穴墓	逗子市山の根 2 丁目	古墳 (末)
Z-46		遺物散布地	逗子市沼間 2 丁目	古墳 (末)
Z-47	山野根仲の谷横穴	横穴墓	逗子市山の根 2 丁目	古墳 (末)
Z-49	堀ノ内城郭遺構	城址	逗子市沼間 2 丁目	中世
Z-56		やぐら	逗子市久木 2 丁目	中世 (鎌倉)
Z-57	大山遺跡	遺物散布地	逗子市桜山字大山	縄文
Z-58	沼間やぐら群	やぐら・地下式墳 墓	逗子市沼間 2 丁目	古墳 (前期)・中世
Z-59		遺物散布地	逗子市桜山 7 丁目	古墳
Z-61	堂前遺跡	遺物散布地	逗子市桜山 7 丁目・逗子 4 丁 目	古墳・奈良・平安(土 (新))
Z-65	逗子経塚	経塚	逗子市逗子 4 丁目	中世
Z-66	牛王松横穴群	横穴墓	逗子市桜山 4 丁目	古墳 (末)・中世 (室町)
Z-69	桜山小古瀬遺跡	横穴墓	逗子市桜山 6 丁目	古墳 (末)
Z-72	菅ヶ谷台地遺跡	集落跡	逗子市沼間 3 丁目	縄文(早期・前期)弥生 ・古墳(後期)・奈良(後期) ・平安(後期)・中世
Z-73	神武寺城郭遺構	城跡	逗子市沼間 2 丁目	中世
Z-83		やぐら	逗子市山 3 丁目	中世
Z-84	烏川遺跡	遺物散布地	逗子市桜山 1 丁目	奈良・平安
Z-85		遺物散布地	逗子市桜山 2 丁目	
Z-86		遺物散布地	逗子市桜山 3 丁目	

資料：「よこすかわが街ガイドオープンデータ」(横須賀市 HP、令和 7 年 7 月閲覧)

「埋蔵文化財」(逗子市 HP、令和 7 年 7 月閲覧)

「葉山町内埋蔵文化財包蔵地一覧」(葉山町 HP、令和 7 年 7 月閲覧)

注)：名称が空欄である箇所は、名称が定められていないことを示す。

表 3. 2-83 (5) 周知の埋蔵文化財包蔵地

No.	名 称	種 別	所在地	時 代
Z-87		遺物散布地	逗子市桜山 4 丁目	
Z-88		遺物散布地	逗子市桜山 6 丁目	
Z-89		遺物散布地	逗子市桜山 6 丁目	
Z-90	桜山うつき野遺跡	遺物散布地	逗子市桜山 8 丁目	縄文・弥生・古墳(前期) ・奈良・平安・中世
Z-92	逗子の大墓	遺物散布地	逗子市逗子 5 丁目	古墳(後期)・中世・近世
Z-94	前田遺跡	遺物散布地	逗子市沼間 2 丁目	奈良・平安・中世
Z-95		遺物散布地	逗子市沼間 3 丁目	
Z-96		遺物散布地	逗子市沼間 4 丁目	
Z-97		遺物散布地	逗子市池子 1 丁目	
Z-100	池子栈敷戸遺跡	遺物散布地、集落跡	逗子市池子字さじき戸	縄文・弥生・古墳・奈良 ・平安・近世
Z-102		遺物散布地	逗子市久木 2 丁目	
Z-108	柳原遺跡		逗子市池子 1 丁目	中世(近世以前)
Z-110	延命寺遺跡	寺院跡	逗子市逗子 3 丁目・4 丁目	奈良・平安・中世・近世
Z-113	松本谷戸遺跡	遺物包含地	逗子市山の根 3 丁目	古墳・奈良・平安・中世
Z-114	蟹田遺跡	集落跡、遺物散布地	逗子市逗子 4 丁目	古墳・奈良・平安
Z-117	地藏山遺跡	遺物散布地、屋敷跡	逗子市桜山 5 丁目	弥生・古墳・中世他
Z-118		集落跡	逗子市桜山 5 丁目	弥生(後期)・古墳(前期) ・中世
Z-119	地藏山熊野神社遺跡	遺物散布地	逗子市桜山 5 丁目	弥生(後期)・中世(後期) ・近世
Z-120	長柄・桜山古墳群 第 1 号墳	古墳	逗子市桜山 7 丁目	古墳(前期)
Z-121	長柄・桜山古墳群 第 2 号墳	古墳	逗子市桜山 8 丁目	古墳(前期)
Z-122	三枚畑遺跡		逗子市桜山 5 丁目	古墳(前期)・中世・近世
Z-127	柳作遺跡	遺物散布地	逗子市桜山 7 丁目	奈良・平安・中世
Z-128		遺物散布地	逗子市桜山 7 丁目	古墳(前期)
Z-129	塚田遺跡	遺物散布地	逗子市桜山 1 丁目	奈良・平安
Z-130	沼間新屋敷遺跡	遺物散布地	逗子市沼間 4 丁目	古墳
Z-131	沼間八反目遺跡	遺物散布地	逗子市沼間 6 丁目	奈良・平安
Z-133	山の根白山社遺跡	集落跡	逗子市山の根 3 丁目	古墳・奈良・平安・中世
Z-134	井戸ヶ沢遺跡	遺物散布地	逗子市桜山 7 丁目	縄文(前期)・古墳(前期)
Z-135		遺物散布地	逗子市桜山 4 丁目	古代
Z-136		やぐら	逗子市桜山 5 丁目	中世
Z-139		遺物散布地	逗子市逗子 5 丁目	中世
Z-143		その他の遺跡	逗子市池子 1 丁目	奈良・平安・中世
Z-145	沼間上ノ谷前遺跡	遺物散布地	逗子市沼間 4 丁目 1256 番付近	中世
Z-146	山野根仲の谷南横穴群	横穴墓	逗子市山の根 2 丁目付近	古墳
H-1	馬の背山遺跡	遺物散布地	葉山町木古庭字大沢	縄文
H-3	一色公園内遺跡	遺物散布地	葉山町一色字打鯖	弥生、古墳、奈良、平安
H-6	平遺跡	遺物散布地	葉山町下山口字平	中世
H-7	御用邸内遺跡	遺物散布地、 古墳、集落跡	葉山町一色字打鯖	古墳、奈良、平安、近世
H-8		遺物散布地	葉山町長柄字芳ヶ久保	古墳、奈良、平安
H-9		遺物散布地	葉山町長柄字芳ヶ久保	古墳、奈良、平安
H-10		遺物散布地	葉山町長柄字芳ヶ久保	古墳、奈良、平安
H-11		遺物散布地	葉山町長柄字松久保	古墳、奈良、平安

資料：「よこすかわが街ガイドオープンデータ」(横須賀市 HP、令和 7 年 7 月閲覧)

「埋蔵文化財」(逗子市 HP、令和 7 年 7 月閲覧)

「葉山町内埋蔵文化財包蔵地一覧」(葉山町 HP、令和 7 年 7 月閲覧)

注)：名称が空欄である箇所は、名称が定められていないことを示す。

表 3. 2-83 (6) 周知の埋蔵文化財包蔵地

No.	名 称	種 別	所在地	時 代
H-12	福厳寺やぐら	やぐら	葉山町長柄字大山	中世
H-13	義景大明神やぐら、 長柄館址	城館址、やぐら	葉山町長柄字大山	中世
H-14		遺物散布地	葉山町長柄字大山	古墳、奈良、平安
H-15	長柄長徳寺やぐら	やぐら	葉山町長柄字大山	中世
H-16		遺物散布地	葉山町長柄字大山	古墳、奈良、平安
H-17		遺物散布地	葉山町長柄字大山	
H-18		遺物散布地	葉山町長柄字下小路	古墳、奈良、平安
H-19		遺物散布地	葉山町堀内字牛ヶ谷	古墳、奈良、平安
H-20		遺物散布地	葉山町堀内字牛ヶ谷	古墳、奈良、平安
H-26	山王塚	塚	葉山町一色字前田	近世
H-27		遺物散布地	葉山町一色字前田	古墳、奈良、平安
H-28	長塚	塚	葉山町一色字日影	近世
H-29		遺物散布地	葉山町上山口字唐木作	古墳、奈良、平安
H-30		遺物散布地	葉山町上山口字唐木作	古墳、奈良、平安
H-31	間門遺跡	遺物散布地、集落跡	葉山町上山口字正吟	古墳、奈良、平安
H-32	稻荷塚	塚	葉山町上山口字正吟	近世
H-33		塚	葉山町上山口字栗坪	近世
H-34	正吟遺跡	遺物散布地	葉山町上山口字正吟	縄文
H-35	畠山城址	城館址	葉山町木古庭字大沢谷	中世
H-36	長江館址	遺物散布地、城館址	葉山町長柄字大山	中世
H-43		遺物散布地	葉山町下山口字白石	近世
H-43		遺物散布地	葉山町下山口字白石	近世

資料：「よこすかわが街ガイドオープンデータ」（横須賀市 HP、令和 7 年 7 月閲覧）

「埋蔵文化財」（逗子市 HP、令和 7 年 7 月閲覧）

「葉山町内埋蔵文化財包蔵地一覧」（葉山町 HP、令和 7 年 7 月閲覧）

注）名称が空欄である箇所は、名称が定められていないことを示す。

第2節 レクリエーション資源

実施区域及び周辺地域のレクリエーション資源は、表 3.2-84 及び図 3.2-28 に示すとおりである。大楠山ハイキングコースの塚山・阿武倉コースと衣笠コースが実施区域の至近を通過している。

「令和 6 年神奈川県入込観光客調査報告書」（2024 年、神奈川県観光振興対策協議会）によると、実施区域及び周辺地域における主要観光施設・主要観光地点・主要観光行事別の令和 6 年の観光客数は表 3.2-85 に示すとおりである。

表 3.2-84(1) レクリエーション資源

No.	名 称	住 所
1	田浦梅の里	横須賀市田浦泉町 92
2	十三峠	横須賀市田浦町 2 丁目
3	塚山公園(安針塚)	横須賀市西逸見町 3-57
4	ヴェルニー公園	横須賀市汐入町 1-1
5	不入斗公園	横須賀市不入斗町 1-2
6	しょうぶ園	横須賀市阿部倉 18-1
7	衣笠公園	横須賀市平作 1-2712-1
8	衣笠山公園	横須賀市小矢部 4-922
9	太田和つつじの丘	横須賀市太田和 5-2638
10	武山(武山不動)	横須賀市武 1 丁目
11	武山ハイキングコース	横須賀市武
12	西公園	横須賀市武 3-458-1
13	天神島臨海自然教育園	横須賀市佐島 3-7-3
14	秋谷・立石海岸	横須賀市秋谷 3-5
15	久留和海岸	横須賀市秋谷
16	大楠山	横須賀市芦名 3
17	大楠山ハイキングコース	塚山・阿武倉コース
18		衣笠コース
19		湘南国際村コース
20		前田橋コース
21		大楠芦名コース
22	桜山中央公園	逗子市桜山 5-375-11
23	台山緑地	逗子市沼間 1
24	第一運動公園	逗子市池子 1-11
25	五霊神社	逗子市沼間 3-10-34
26	神武寺・高取山ハイキングコース	逗子市沼間
27	二子山回廊コース	逗子市沼間

注) 表中の番号は、図 3.2-28 に対応する。

資料: 「横須賀市観光情報」(横須賀市 HP、令和 7 年 7 月閲覧)

「横須賀市 運動・公園」(横須賀市 HP、令和 7 年 7 月閲覧)

「観光」(逗子市 HP、令和 7 年 7 月閲覧)

「葉山町観光協会」(葉山町 HP、令和 7 年 7 月閲覧)

「聞き取り調査」(二子山山系自然保護協議会 寺前谷戸復元プロジェクト)

表 3. 2-84 (2) レクリエーション資源

No.	名 称	住 所
28	南郷上ノ山公園	葉山町長柄 1888-1
29	仙元山ハイキングコース	葉山町堀内
30	湘南国際村グリーンパーク	葉山町上山口 1560-91
31	不動滝	葉山町木古庭
32	二子山山系山道	葉山町上山口

注) 表中の番号は、図 3. 2-28 に対応する。

資料: 「横須賀市観光情報」(横須賀市 HP、令和 7 年 7 月閲覧)

「横須賀市 運動・公園」(横須賀市 HP、令和 7 年 7 月閲覧)

「観光」(逗子市 HP、令和 7 年 7 月閲覧)

「葉山町観光協会」(葉山町 HP、令和 7 年 7 月閲覧)

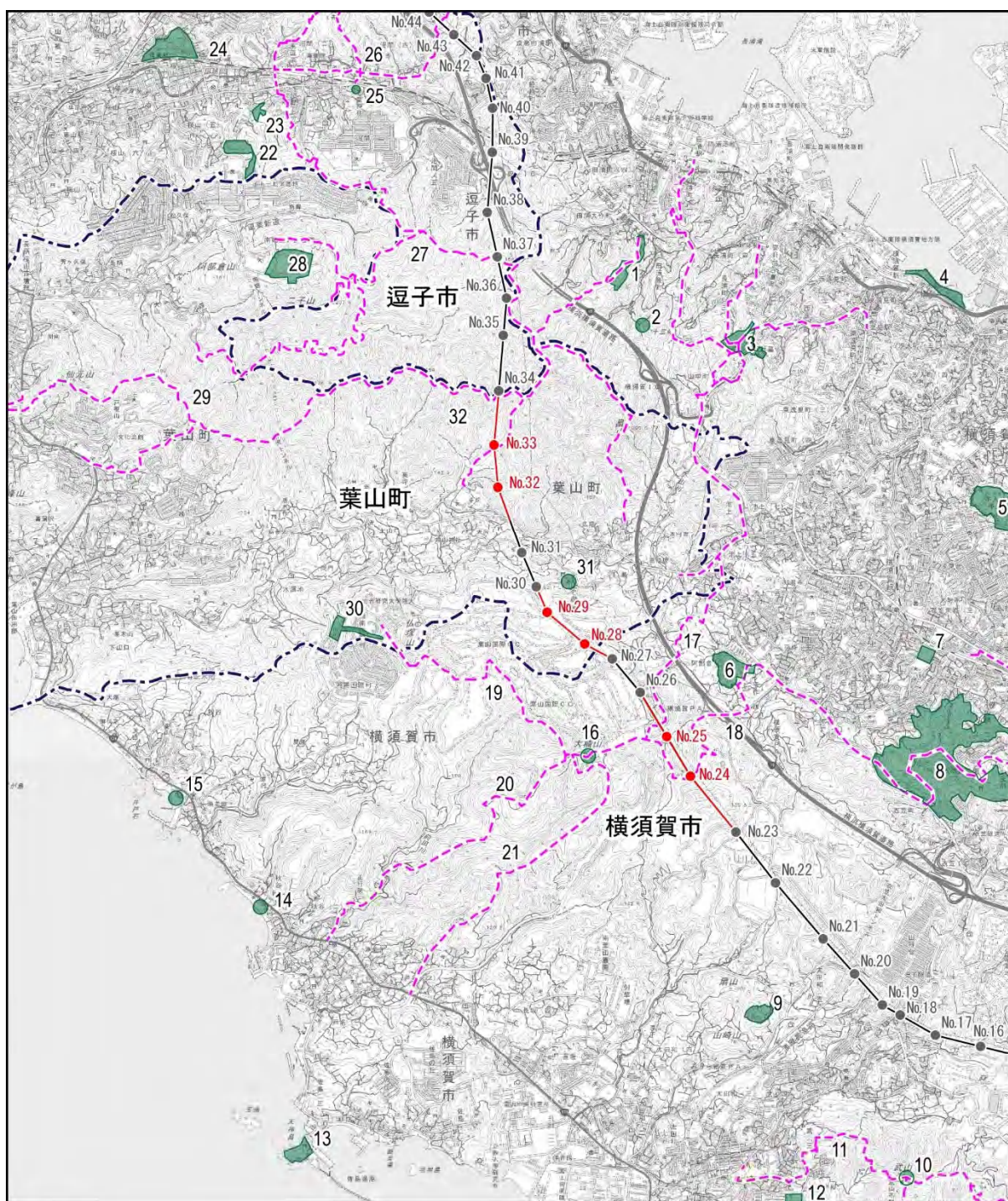
「聞き取り調査」(二子山山系自然保護協議会 寺前谷戸復元プロジェクト)

表 3. 2-85 実施区域及び周辺地域における主要観光施設等の観光客数(令和 6 年推計)

名 称		調査区分	観光客数(千人)
横須賀市	しょうぶ園	施設	71
	田浦梅の里	地点	17
	塚山公園さくら祭	行事	7
	衣笠さくら祭(衣笠山公園)	行事	3
逗子市	二子山自然遊歩道	地点	33

注) 表中の地点は「主要観光地点」、施設は「主要観光施設」、行事は「主要観光行事」を示す。

資料: 「令和 6 年神奈川県入込観光客調査報告書」(2025 年、神奈川県観光振興対策協議会)



凡 例

- 実施区域の送電線及び鉄塔
- 実施区域外の送電線及び鉄塔
- 市町村界
- レクリエーション資源
- ハイキングコース

注1) 図中の番号は、表 3. 2-84 に対応する。

注2) 資料調査結果の情報を優先するため、実施区域の工事用地は記載していない。

資料：「観光情報」（横須賀市 HP、令和 7 年 7 月閲覧）

「観光情報」（逗子市 HP、令和 7 年 7 月閲覧）

「観光」（葉山町 HP、令和 7 年 7 月閲覧）

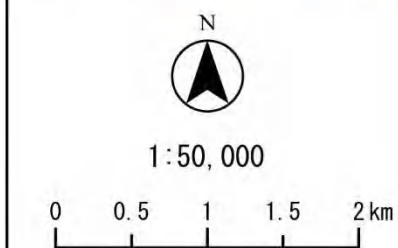


図 3. 2-28 レクリエーション資源

第3節 地域景観の特性

1. 地域景観の特性

(1) 地域景観の特性

横須賀市は、東京湾、金田湾及び相模湾の海に囲まれ、大楠山、衣笠山、武山及び野比にかけた市域中央部に連なる丘陵地、海岸部及び内陸部の市街地などから構成されている。

また、鎌倉時代の三浦一族の史実や開国期を彩った歴史と文化の資産、多くの外国人の居住による国際的雰囲気と市民レベルで広がる国際交流、横須賀芸術劇場や先端的な研究開発機関の集積などの地域資源がある。

「横須賀市景観計画」（令和元年11月25日施行）では、景観計画の区域は市域全域となっている。また、良好な景観の形成に関する方針として、「横須賀の自然、歴史等の資源を生かした景観を育むこと」、「横須賀市の特徴である海や緑豊かな丘陵地等への良好な眺望を保全すること」、「地域にふさわしい魅力的な町並みを育むこと」の事項について積極的に取り組むとしている。

逗子市は三方を緑の丘陵に囲まれ、一方は海に向かって開け、両者を繋ぐ田越川がまちの中央を流れるまとまりのある地形と豊かな自然に恵まれた街である。また、いにしえより吾妻鏡などその名にとどめる地であり、明治以来の保養地として歴史的遺産等を受け継ぎながら良好な住宅都市として発展している。

「逗子市景観計画」（令和4年12月改正）では、景観計画の区域は市域全域となっている。

景観形成の基本理念は、「逗子の自然の特徴である海、川、緑豊かな丘陵地等による景観の保全に努めること」、「逗子の歴史、文化等の資源を生かした景観をはぐくむこと」、「逗子らしい特徴を持った美しい町並みを育てること」、「市民の多様な参加を得て良好な景観を形成すること」としている。

葉山町は、西は海に向かって開け、阿武倉山、二子山、大楠山など三つの山麓の間を森戸川、下山川という二つの川が流れ、その美しい風景を味わえる場所が数多く存在している。また、御用邸に代表される別荘や大規模な民家が数多く建ち並び、独自の景観と文化的環境を形成してきたところである。

「葉山町景観計画」（平成22年7月1日）では、景観計画の区域は町域全域となっている。

また、良好な景観を形成する目的を「まちの各所で、「海とみどりにひろがる交流文化のまち葉山」が実感できる景観を形成する」として、様々な目標を設定している。

なお、実施区域には、「横須賀市景観計画」において眺望景観保全区域、「逗子市景観計画」において景観形成重点地区及び景観重要樹木、「葉山町景観計画」において景観重要樹木の指定はない。

(2) 主要な眺望地点

実施区域及び周辺地域の主要な眺望地点は、表 3.2-86 及び図 3.2-29 に示すとおりであり、主要な眺望地点が 15 箇所存在している。

表 3.2-86 主要な眺望地点

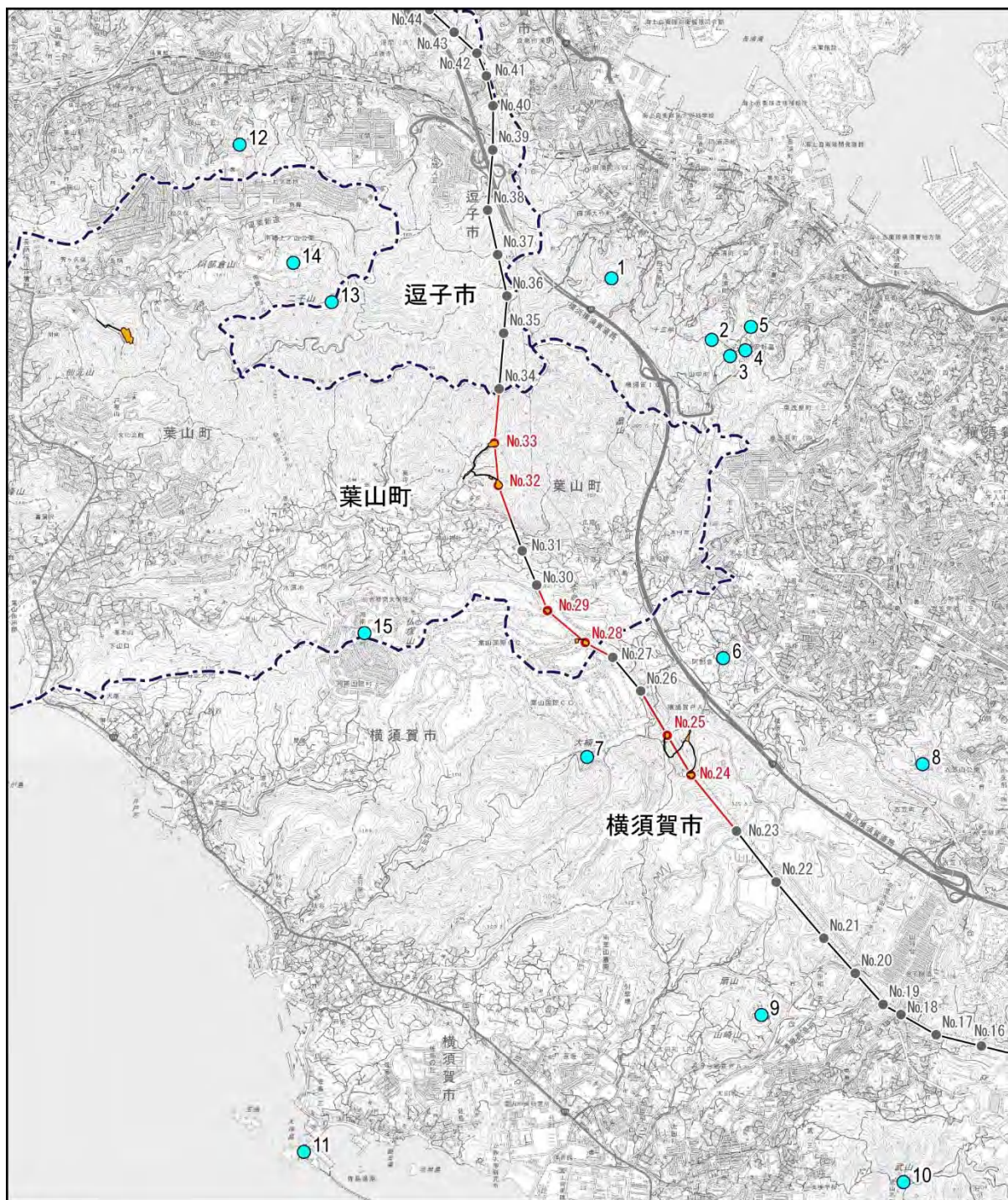
No.	名 称	住 所
1	田浦梅の里	横須賀市田浦泉町 92
2	十三峠	横須賀市長浦町 3 丁目
3	富士見台	横須賀市山中町
5	塚山公園 展望デッキ	横須賀市西逸見町 3-57
6	しょうぶ園 展望台	横須賀市阿部倉 18-1
7	大楠山	横須賀市芦名 3
8	衣笠山公園 展望台	横須賀市小矢部 4-922
9	太田和つつじの丘	横須賀市太田和 5-2638
10	武山(武山不動)	横須賀市武 1 丁目
11	天神島臨海自然教育園	横須賀市佐島 3-7-3
12	桜山中央公園	逗子市桜山 5-375-11
13	二子山展望台	逗子市沼間
14	南郷上ノ山公園	葉山町長柄 1888-1
15	湘南国際村グリーンパーク	葉山町上山口 1560-91

注) 表中の番号は、図 3.2-29 に対応する。

資料: 「観光情報」(横須賀市 HP、令和 7 年 7 月閲覧)

「観光情報」(逗子市 HP、令和 7 年 7 月閲覧)

「観光」(葉山町 HP、令和 7 年 7 月閲覧)



凡 例

- 実施区域の送電線及び鉄塔
- 実施区域外の送電線及び鉄塔
- - - 市町村界
- 実施区域の工事用地
- 主要な眺望地点

注) 図中の番号は、表 3.2-85 に対応する。
 資料: 「観光情報」(横須賀市 HP、令和 7 年 7 月閲覧)
 「観光情報」(逗子市 HP、令和 7 年 7 月閲覧)
 「観光」(葉山町 HP、令和 7 年 7 月閲覧)



1:50,000

0 0.5 1 1.5 2 km

図 3.2-29 主要な眺望地点

